

大阪消防

特集 第53回 全国消防救助技術大会

2025年 大阪・関西万博

～ 万博消防センター発。世界中の人々との国際交流 ～

ふるさと日記

こんな声届いています！

令和7年

11

No.908

月号

食べて遊んで癒されて、
極楽の殿堂ここにあり！

12F Bee RUSH 難波

11F～5F サウナ&カプセルアムザ
至高の快眠設備！本格派サウナ

展望露天風呂、美泡『萬の湯』

4F スシロー（西日本最大236席）

3F カラオケ BIGECHO・赤から

・さんばち屋・チキチキチキン

2F サイゼリア・カ丸・びっくりドンキー

1F 炭焼笑店陽・水炊きからあげ鳥吾郎

大東洋 なんば店 B1 CLUB-D

なんば千日前の
『アムザ 1000』

笑って
見送れ
最終電車！



〒542-0074 大阪市中央区千日前 2-9-17

団体割引適用で割安！

※④を除きます

～消防人生をずっと補償～

いざという時のために！

一般財団法人全国消防協会 職員福利厚生事業

消防職員・消防退職者のための保険

①

団体割引適用
30%

消防職員傷害保険

傷害総合保険

募集時期 ■ 7月～8月 1月～2月 2月～4月（新採用プラン）

②

団体割引適用
30%
過去の積立率による
割増10%適用

消防職員医療保険

医療保険基本特約・疾病保険特約・
傷害保険特約セット団体総合保険

③

団体割引適用
30%
過去の積立率による
割増10%適用

弁護のちから

弁護士費用総合補償
特約セット団体総合保険

募集時期 ■ 7月～8月

年間保険料

④

4,000円

救命救急士の
専門業務も補償！

消防職員賠償責任保険

公務員賠償責任保険（消防職員危険担保
特約条項、初期対応費用担保特約条項、迷惑行
為被害対応費用担保特約条項等付帯）

募集時期 ■ 1月～2月 7月～8月

⑤

消防職員がん保険

団体総合生活保険（がん補償）

募集時期 ■ 1月～3月

団体割引適用
20%

⑥

消防職員介護保険

団体総合生活保険（介護補償）

募集時期 ■ 1月～3月

団体割引適用
20%

⑦

消防退職者医療保険

団体総合生活保険（医療補償）

募集時期 ■ 1月～3月

団体割引適用
約40%

こちらは概要のご案内です。各保険の詳細については、パンフレットをご参照ください。取扱商品、各保険の名称や補償内容等は引受保険会社によって異なりますので、ご加入にあたっては、必ず「重要事項等説明書」をよくご確認ください。詳細は約款によりますが、保険の内容等についてご不明な点等がある場合には、取扱代理店までお問い合わせください。



全国の消防職員・ご家族の皆様とともに
全国消防保険サービス株式会社

一般財団法人 全国消防協会
損害保険取扱代理店



〒105-0001 東京都港区虎ノ門2-9-16 日本消防会館12階 TEL:03-6807-5691（代）（受付時間：土日・祝祭日除く 9:00～17:00）

<引受保険会社> 損害保険ジャパン株式会社 団体・公務開発部第三課 TEL:03-3349-5408（受付時間：土日・祝祭日除く 9:00～17:00）
東京海上日動火災保険株式会社 広域法人部法第一課 TEL:03-3515-4147（受付時間：土日・祝祭日除く 9:00～17:00）

SJ24-10428（2024/11/15）
24TC-004943（2024年11月作成）

CONTENTS

大阪消防11

表紙：第118回 初任教育修業式

01：コンテンツ／災害概況

02：特集 第53回 全国消防救助技術大会

08：2025年 大阪・関西万博

～万博消防センター発。世界中の人々との国際交流～

12：Another Voice - こちらは指令情報センターです -

13：人材育成のヒント

14：ケイボウタイムズ

16：明日に備えて過去に学ぶ

17：ソナエの教室

18：救急いろは

20：実録!! 調査鑑識

22：We are Rookies!

24：大阪の消防NEWS

26：【職務】令和6年中の規制対象物における
火災発生状況 (3)

28：ふるさと日記

29：こんな声届いています!

30：落語DE火の用心

31：淀橋広子の広報講座

32：自衛消防隊紹介 / 女性防火クラブだより

33：現場に活かす! 救急救命士国家試験問題

34：消防漢字ガール

35：功績表彰

40：救急安心センターおおさかだより / 編集後記

大阪市の災害概況

◎火災概況

	建物火災				小計	車両	船舶	爆発	その他	合計
	全焼	半焼	部分焼	ぼや						
9月中件数	0	2	14	27	43	6	0	0	10	59
令和7年 9月末累計	15	16	121	295	447	29	0	0	80	556
令和6年 9月末累計	11	16	129	282	438	32	1	2	61	534
累計比較	4	0	▲8	13	9	▲3	▲1	▲2	19	22

◎救急概況

	救急出場
9月中件数 (概数)	21,152
令和7年 9月末累計	198,266
令和6年 9月末累計	201,410
累計比較	▲3,144

◎火災・救急以外の消防活動概況

	救助活動	危害排除	水防活動	その他
令和7年 9月末累計	3,478	990	4	928
令和6年 9月末累計	3,489	972	0	864
累計比較	▲11	18	4	64



第53回 全国消防救助 技術大会

2025.08.30

兵庫県立広域防災センターで開催された全国消防救助技術大会に出場した隊員のコメントを紹介します。

陸上の部 はしご登はん 第1位



西消防署 消防士長 香川 大也

局是記章「強実章」受賞(令和7年9月17日)

この度、第53回全国消防救助技術大会「はしご登はん」訓練において全国1位入賞という結果を大阪市消防局に持ち帰ることができました。

これもひとえに、皆様の手厚いご支援をはじめ、家族の理解や協力があったものです。長期にわたり、お力添えをいただいたすべての皆様に深く感謝申し上げます。

思い返すと、初の近畿強化隊員に選出されたのは5年前。憧れの“大阪ゼッケン”を手にした時は本当に誇らしく、大阪市消防局の代表としてのプライドと先人の方々が築き上げてきた救助魂や長い歴史に大きな責任を感じ、身の引き締まる想いになったことを今でも鮮明に覚えています。

今大会を含め、近畿大会には3度出場させて頂き、今回が【三度目の正直】。やっとの思いで全国消防救助技術大会へとコマを進めることができました。私自身の近畿大会出場は三度目ですが、全国の大舞台でスタート合図を貰うまでには、8年の歳月を要しました。

今回、その集大成を最高の結果で締めくくることができ、心の底から嬉しく思います。全国大会当日は、「凡事徹底」、いつも通りのことをいつも通りに行うこと、を心がけました。現場活動で訓練以上の行動(攻めた動き)をしないのと同じように1回のBESTより10回のBETTERを実践しました。

心理的、肉体的状況を見極め、スタートラインに立つ瞬間までは、「圧倒的な自信」とそこに繋がる「根拠」をしっかり持ちながらも、ミスに繋がる要因が残っていないかを徹底的に確認し続けたことが、今回の結果につながったと確信しています。

私にとっても強化訓練は、消防人として、人として私を大きく成長させてくれる場でした。

また、どんな困難な災害にも屈することなく、人命救助という責務を全うするために必要とされる強靱な体力と精神力や、資器材を安全、確実、迅速に扱う技術等、消防における心・技・体を十分に養うことができる時間でした。

何より、西日本最大組織大阪市消防局代表の精鋭達と共に乗り越える夏は、今後の消防人生の何にも代えがたい財産となります。

この経験を今後も、後輩隊員へと継承していきます。





水上の部 基本泳法 第1位



東住吉消防署 消防士長 高瀬 渉

局是記章「強実章」受賞(令和7年9月17日)

水上の部の「基本泳法」という種目で全国1位を獲ることができました。今年は兵庫県での開催でしたので、たくさんの方が応援に来てくださり、関西が一丸となって盛り上がるのができた大会だと感じました。

私は、昨年、一昨年と悔しい思いをしたため、3回目の出場となる今年は、全国1位になるために今までよりもたくさんの訓練をしてきました。誰よりも泳ぎ、日本の消防士で一番泳いだと胸を張って言えるほど泳ぎました。基本泳法は、自身の泳力が全て、の個人種目の為、訓練は孤独で自分の気持ちと戦う毎日でした。しかし、私には、昨年の悔しさからの明確な目標と、昨年の大会で全国1位になった2人の先輩という大きな存在があったので、孤独な訓練のなかでもモチベーションを高く維持することができました。4月からの約4カ月間、全国1位になることだけを考え、休日も自分の泳ぎを研究したり、競泳選手、水球選手の泳ぎを真似てみたりと、大学時代と同じような努力と青春を味わうことができました。

本番当日は、自己ベストを更新することができず、自身の弱さも感じましたが、良い緊張感の中で訓練でき、今後の課題も得ることができました。

4月から始まった近畿地区指導会強化訓練では、自分の技術と知識、現場での反省、現場での冷静さに繋がる、基本技術から応用技術、失敗を重ねて成功させる終わりのない努力、本番で実力を発揮できるメンタルの強化など、現場活動でも必要とされることを学ぶことができました。

消防人としても成長できる環境に自分がいられたこと、そして、送り出してくれた所属の方々に感謝しています。これからも、自己研鑽を続け、所属や大阪市民へ還元できるように、終わりのない努力をしていきたいと思っています。

最後に、私たちを支えてくださった事務局の皆様、指導員、家族へ感謝しています。この全国1位は全員で掴み取ったものだと思います。本当にありがとうございました。





水上の部 水中検索救助

堤 勇樹 難波 拓人 松永 将信



このたび、第53回全国消防救助技術大会に出場し、全国2位という結果を収めました。これまで「日本一」を目指し訓練に取り組んできましたが、その目標には届きませんでした。しかしながら、この結果は私たちが大切にしてきた「安全・確実・迅速」を体現できた証であり、胸を張れる成果だと感じています。この成果を次なる一歩へつなげ、安全文化の醸成へ寄与できるよう、今後も警防業務に励んでまいります。

また、大会関係者の皆さま、警防課や阿倍野消防署の皆さま、そして訓練を通じて出会った仲間たちに心より感謝申し上げます。第43回大会から今日に至るまで、長年にわたりここまで育てていただき本当にありがとうございました。この経験は私にとってかけがえのない財産となりました。いつの日か、再び何らかの形でこの訓練に携わり、大阪救助の魂を永く伝承していく一助を担いたいと思います。

阿倍野消防署 消防司令補 堤 勇樹



今回、全国消防救助技術大会に出場できたことは、自分にとって大きな挑戦であり、かけがえのない経験になりました。当日は全国から集まった隊員たちと共に競い合い、その場に立てたこと自体が誇らしく、胸が熱くなる瞬間の連続でした。

ここまで来られたのは、日々の訓練を共に乗り越えてきた仲間のおかげです。厳しい訓練の中で支え合い、励まし合い、積み重ねた時間が、本番での自信につながったと感じています。

そして、指導してくださった先輩方や、応援してくれた仲間、家族の存在も大きな支えになりました。誰一人として欠けては成り立たなかったこの挑戦を、みんなと共有できたことを心から嬉しく思います。

今回の経験を糧に、これからも市民の安全・安心を守るため、一層努力を重ねてまいります。

天王寺消防署 消防士長 難波 拓人



水上の部、水中検索救助で全国消防救助技術大会へ出場させていただきました。長期間ご支援いただいた事務局、指導員、所属の皆様大変ありがとうございました。これまで全国大会へは2回挑戦しましたが、全国1位への壁は厚く、「今年こそは…」という想いで臨みました。結果としては残念ながら2位で目標とする全国1位をつかみ取ることはできませんでした。強化訓練に参加するのは今年で4回目ということで、毎年同じ訓練をしているわけですが、毎年学ぶことはあり、年数を重ねる毎に立場も変わり自分の役割も変わってきます。隊員のまとめ方や訓練の雰囲気作り、組み立て方、分析など先輩から学ぶことは多く、自分の成長の余地をまだまだ感じました。この学びを今後に生かし、次の世代へ繋げていくことも大きな役割だと思うので、大阪市消防局の明るい未来へ向け今後も精進していきます。

大正消防署 消防士長 松永 将信





水上の部 溺者救助

難波 拓人 北河 建 長船 勇雅



今年の近畿地区指導会・全国消防救助技術大会では、全国2位という結果以上に、人との思いやりや繋がり大切さを多くの場面で実感することができました。各課職員、各指導員、共に出場した選手及び生野消防署の皆様など、数え切れないほど多くの方々に支えていただき、心から感謝しています。

残念ながら全国1位という形で報告はできませんでしたが、この訓練期間を通して人との繋がりや温かさに触れることができたことは、私にとってかけがえのない財産となりました。

また、若年層職員の方々には、日々の現場活動や訓練・業務など、覚えることが多く大変だと思いますが、救助訓練は技術だけでなく、人としても必ず得るものがあります。だからこそ、全力で訓練に取り組んでほしいと願っています。

私自身も、この経験と想いを若年層職員にも伝え、微力ながら大阪市消防局の発展に貢献できるよう、自分自身も精進し、業務遂行に励んでいきたいと思っています。

生野消防署 消防士長 北河 建



第53回全国消防救助技術大会へ出場するにあたって、沢山の方々にご支援いただきました。ありがとうございました。

私は溺者救助という3人1組で行う種目に出場しました。7月の近畿地区指導会を勝ち抜いた後、8月からは全国大会へ向けた訓練が本格的に始まり、とても充実した訓練期間を過ごしました。近畿地区の代表、大阪市の代表として沢山の応援と想いを背に、本番当日は培った技術を最大限に発揮することができました。訓練期間中、共に悩み、励まし、背中を押し合いながら成長したチームメイトとの絆は、今後の消防人生の大きな財産になると感じています。

この訓練で培った沢山のことを、日々の消防業務、災害現場活動で最大限に発揮し、市民の期待に応えるべく全力を尽くします。

淀川消防署 消防士長 長船 勇雅





陸上の部 ロープブリッジ渡過



私にとって、ロープブリッジ渡過は、消防学校の実科査閲の訓練で社会人として初めて、成長した姿を地元から来てくれた両親に見せることができた思い出深い種目です。救助技術練成会では、この訓練に励み、第51回近畿地区指導会に出場することができました。しかし、思うようにタイムが縮まらず、苦汁を飲んだ夏となりました。翌年は、予選を通過できず、出場することができませんでした。その悔しさをバネに、每当務のように講堂に張った渡過線で渡り込んできました。その結果、消防士になり10年目という節目の年で、念願の全国大会出場が叶いました。ロープブリッジ渡過で、全国大会に出場するのは1度きり。全国1位を目標とし、訓練には全力で取り組み、食事にも最大限配慮してきました。全国1位は逃しましたが、ベストを出し切り、後悔のない夏となりました。

それも応援、ご支援していただいた多くの方々のお陰です。本当にありがとうございました。

淀川消防署 消防士長 宮本 弦

水上の部 複合検索



今年を最後に廃止となる複合検索での全国1位を目指した夏で、2年ぶりに全国大会に出場することができました。私は近畿地区指導会までに一カ月を切った6月末から訓練に参加しました。人より遅い訓練スタートのため訓練時間が人より短く、その分、今まで以上に操法について考えました。自身の動画を何度も見返し、修正を繰り返し、その結果、全国大会の舞台に戻ってくることができたと思います。

残念ながら、結果は2位。あと一步、全国1位に届かず悔しい気持ちでいっぱいです。しかし、指導員や仲間達と救助技術の向上の為に過ごしたこの夏は、私にとって大きな財産となり、今後の消防人生で必ず役立つと思います。この経験を現場活動や業務、後輩育成等に活かし、再び全国の舞台に帰ってきたいと思います。

最後になりますが、この強化訓練に携わって下さった全ての方に感謝申し上げます。

水上消防署 消防士長 窪田 琢也



新障害突破

変更にあたっての概要

訓練中に重大な負傷事故が発生したことを契機に、更なる安全対策の強化を目的とした障害突破の実施要領変更が検討されてきました。

来年の全国消防救助技術大会から変更される予定で、大きな変更点は2つです。

1つ目は、訓練隊員の1名減少と、安全対策要員の2名増員。

2つ目は、地上から訓練塔へ登るはしご登はんと、訓練塔から地上に降下する緊急脱出時のそれぞれに確保ロープを設定することで、高所における訓練時の安全対策強化。

これらの変更点についての大阪市消防局と神戸市消防局による展示訓練が、今回の全国消防救助技術大会にて実施されました。



第53回全国消防救助技術大会においての新たな「障害突破」の展示訓練は、来年度大会に向けた安全対策の強化を目的とし、実施要領の変更点を紹介するものです。主な改正点は二つあります。第一に訓練隊員を1名削減し、安全対策要員を2名増員したこと、第二に梯子登はんや緊急脱出時に確保専用ロープを使用し、高所における安全性を一層高めたことです。

短期間での準備ではありましたが、ロープの展張方法や収容方法について繰り返し試行錯誤を重ね、訓練に取り組みました。来年度以降、各消防本部が新たな「障害突破」と真摯に向き合い、互いに切磋琢磨することで、伝統ある大会がさらに発展していくものと確信しています。昭和47年から続く歴史ある大会において、その転換点ともいえる訓練展示に参加できたことを誇りに思うとともに、ご支援を賜りました皆様に心より感謝申し上げます。

東淀川消防署 消防司令補 橘 陣太郎

～ 一般財団法人全国消防協会より感謝状を授与されました ～



阿倍野消防署 消防司令補 西村 健作



東淀川消防署 消防司令補 橘 陣太郎



天王寺消防署 消防司令補 田中 純平



天王寺消防署 消防士長 杉本 悠史

所属・階級は第53回全国消防救助技術大会当日時点のものです。

184日間 おおきに！ 2025年 大阪・関西万博／ ～ 万博消防センター発。世界中の人々との国際交流 ～

4月13日の開幕以降、来場者数も増え、連日大賑わいとなった大阪・関西万博もついにフィナーレを迎えました。

万博消防センターの業務も滞りなく終えることができ、職員の皆様には心より感謝申し上げます。今回は、そんな大阪・関西万博での国際交流の裏側を万博消防センターの目線からご紹介します。

海外スタッフ向け講習会の舞台裏

皆様ご存じのとおり、万博会場内には多くの海外スタッフが働いています。万博会場内のスタッフは、「火災」や「目の前で人が倒れた」という状況にいつ遭遇するかわかりません。そのときに慣れない国であっても、自信をもって対応できるように、海外スタッフを対象とした応急手当講習及び消火器を使用した消防訓練を実施しました。

嬉しいことに、これらの講習、訓練は各国のパビリオンからの依頼により開催が実現したものでした。このことは「来場者に安全・安心を提供すること」いう我々、万博消防センターの強い思いと同じ思いであることの表れであり、万博を支える裏方として、国や言葉を超えた絆を感じる出来事でした。

講習会では、心肺蘇生法を中心に、止血法、熱中症対策、徒手搬送法などを説明しました。実際に徒手搬送法を紹介すると、体格の差を感じさせず軽々と運び出す消防職員の姿に受講者から驚きの声があがりました。

さらに、火災時に欠かせない消火器の操作方法も体験してもらいました。消火器を見るのも初めて

という方もおられ、貴重な経験となった様子でした。

受講者の中には日本語がわからない方も多く参加していたため、英会話ができる消防職員が通訳を行い、身振り手振りを交えて講習会を進めました。



北欧館にて実施した応急手当講習



アメリカパビリオンスタッフの徒手搬送体験

明るく積極的な外国人は多く、その前向きな受講姿勢により講習会は盛り上がり、我々職員にとっても刺激的な時間となりました。

また、講習会終了後には、感謝の気持ちとしてパビリオンスタッフからピンバッジがプレゼントされるなど、国際的な交流を深める貴重な機会にもなりました。

この講習を通じて笑顔と学びが生まれ、万博の安全・安心を支えるひとコマとして、心に残る体験となりました。



アメリカパビリオンスタッフとの記念撮影

異文化が交わる万博の救急現場レポート

会場内では、さまざまな救急事案が発生しました。そのうち、外国人対応の救急事案は速報値ですが、全体の約7%という結果でした。数字だけをみると少なく感じますが、その内容はまさに「国際色豊か!!」

日本の常識が通じないことも多く、聞きなれない言葉で「なぜ、すぐに病院へ行かないの?!!」と日本の救急医療体制などについて疑問を投げかけられることもありました。そのたびに言葉の壁、表現やニュアンスの違い、宗教の違いなどに悩まされました。さらに、会場内には衆人観視が多く、プライバシー保護も大きな問題のひとつでした。このような圧倒的に困難な状況下でも、万博消防センター救急隊は、これまで培ってきた「コミュニケーション能力」という手腕を発揮し、日頃の救急活動と変わらずに、様々な事案に対応することができました。言葉の違いに限らず、困難なことは数多くありましたが、最終的には同じ人間同士、真摯に向き合う姿勢と笑顔は世界共通だと感じました。

今回の経験は、これからの国際化社会における、日本の大都市のひとつである「大阪」の救急隊として、今後の活動に活かしていきたいと思っています。

しかし、これだけは言わせてください。
「救急隊員みなさん、現状に甘んじることなく語学を身につけよう!!」

184日間 おおきに！ 2025年 大阪・関西万博／ ～ 万博消防センター発。世界中の人々との国際交流 ～



海外パビリオン関係者と
予防担当職員

万博の火災を未然に防いだ縁の下の力持ち

皆様は、万博消防センターに会場内の消防設備に精通した予防担当の職員がいたことをご存知でしたか？

万博消防センターの予防担当には大阪市消防局以外の大阪府内の消防職員も所属（研修の一環で支援）していました。彼らは、万博会場を火災から守るために、万博が開幕する数年前から継続して火災予防のための取組を行い、万博閉幕まで、ともに万博会場内の予防業務を担ってきました。

火災予防という分野は、専門用語が多く用いられるため説明が行いにくく、理解しづらい状況となり、海外パビリオンの関係者との調整は困難を極めました。

特に消防設備の基準や運用方法をひとつひとつ丁寧に説明し、理解していただくことは、容易なものではありませんでした。

しかし、各国の防火認識や言葉の違い、という大きな壁を乗り越え、予防担当職員の粘り強い努力によって、それらは着実に形となり、大屋根リングに匹敵する大きな火災予防の輪となりました。

まさに、「見えないところで安全・安心を支える」縁の下の力持ちとして万博会場内で活躍した予防担当でした。

また、予防担当職員の厳しくも、親身に寄り添う姿勢は海外パビリオンの関係者からも受け入れられ、立入検査が和やかな国際交流の場となることも多くありました。

◆ 国際交流 番外編 ◆

ヨハン・ヴァーデフル ドイツ外務大臣と

グーテンターク！（こんにちは！）
感動の再会

消防とはあまり関係ありませんが、万博ならではの素敵な交流がありました。

万博開催期間中、ドイツ連邦共和国のヨハン・ヴァーデフル外務大臣と二人の日本人消防職員の約10年ぶりの再会について本人からご紹介します。

私が、外相家族と初めてお会いしたのは、真冬の神戸三宮でした。バス停を探して道に迷っていた外相を道案内して、バスが来るまでの間、一緒にお話ししながら待たせたことがきっかけとなり、お互いに近況報告を兼ねたメールを年に1〜2回交わす仲になりました。

万博開幕後間もなく、外務大臣就任のニュースを見かけ、お祝いメールを送ると、8月に万博会場を訪問する為、久しぶりに再会しよう、と大臣のほうから申し出ていただきました。



10年分の近況報告をする
再会した2人

再会した場所は大阪・関西万博のドイツパビリオンVIPラウンジでした。まずはメラニー・ザクシンガー大阪・神戸ドイツ連邦共和国総領事館総領事から歓待を受けました。総領事へ自己紹介をして、大臣とお会いした経緯やお互いの家族についてお話しした後、外相のもとへ総領事が案内してください、外相と約10年ぶりの再会を果たすことができました。固い雰囲気での再会になるかと想像していた私は、外相の温かくも熱烈な歓迎に驚きつつも、ようやく実現した久しぶりの再会に思わず目頭が熱くなりました。

その後、中央区で発生した職員殉職事案についてのお悔みや消防局全職員の貢献に感謝と尊敬を表してくださいました。

最後に、次の桜の季節に再会することを約束してお別れしました。

情けは人の為ならずということわざがあります。が、ことわざ通りの出来事になりました。

184日間 おおきに！ 2025年 大阪・関西万博／ ～ 万博消防センター発。世界中の人々との国際交流 ～

大阪ウィーク

「未来の消防活動の展示」開催

万博開催期間中、大阪ヘルスケアパビリオンリボンステージにて、大阪ウィークイベントを計3回開催しました。8月号では、大阪ウィーク／春のイベントの様子をお伝えしました。

今月は、春開催に続き、

大阪ウィーク／夏 7月25日開催

大阪ウィーク／秋 9月11日開催
について特集します。

体験・展示ブースについて

春イベントに引き続き、夏・秋イベントでも、未来の消防を体験していただけるブースを数多く用意しました。傷病者の手首に装着し、バイタルを測ることができるデジタルのトリアージタグや、災害現場の情報を一括管理できるDX指揮卓、冷却機能を備えた未来型の外套などを展示し、現場の課題などを交えながら、未来の資器材について、来場者の皆様に説明しました。

未来の消防車両や資器材を展示することで、大阪・関西万博のテーマである「いのち輝く未来社会のデザイン」を来場者の皆様に体験していただくことができました。

また、春イベントの際にご要望が多かった、消防服を着用できる写真撮影ブースを設置し、小さなお子様から外国人の方まで多くの方に体験していただきました。消防服を着用した来場者の方からは、「こんな分厚い服を着て活動しているんですね。頑張ってください」などのお声をいただき、普段は、会場のバックヤードで勤務する大阪・関西万博消防センター職員と来場者の方が交流できる数少ない貴重な機会となりました。



ヘルメットに装着した赤外線カメラの体験



トリアージタグの紹介



写真撮影ブース



未来型外套の紹介

184日間 おおきに！ 2025年 大阪・関西万博／ ～ 万博消防センター発。世界中の人々との国際交流 ～



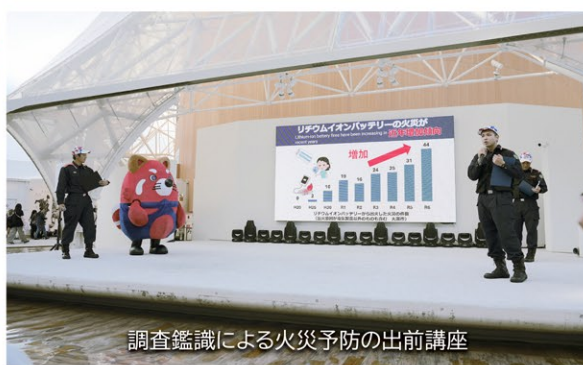
胸骨圧迫体験



マイナ救急の紹介



VRを使用した避難体験



調査鑑識による火災予防の出前講座



新猿楽「火水火水 KAMIGAMI」の公演



LIVE映像119の体験

ステージイベントについて

体験・展示ブースの他に、リボーンステージにて様々な消防イベントを実施しました。

ステージイベントでは、当局の最新の取組や、未来の消防を体験していただき、「災害に強いまち・安全な都市」を世界中の方にPRすることができました。

＜イベント一覧＞

- マイナ救急紹介
- 胸骨圧迫体験
- 救急クイズ
- 調査鑑識による火災予防の出前講座
- VR避難体験
- LIVE映像119紹介
- 新猿楽（しんぎやう）
「火水火水 KAMIGAMI」公演

さいごに

今回は、大阪ヘルスケアパビリオンリボーンステージにて、春に続き、夏、秋、と開催した、大阪ウィーク「未来の消防活動の展示」についてご紹介しました。

イベントでは、お越しになられた皆様に未来の消防活動を体験していただいたほか、火災予防や予防救急についても知っていただくことができました。次回は、大阪・関西万博特集最終号となります。大阪・関西万博消防センターの軌跡を振り返ります。

Another Voice

- こちらは指令情報センターです - Vol.10 -高所カメラ情報収集システムについて-

庁舎内に流れる出場指令や警防情報音声など、声を聞いたことはあるけど、どんな業務をしているのかなんとなく知らないしな・・・、あんまり関わりないし興味はあるけど聞きにくいな・・・。

そんな指令情報センター業務に対する疑問や質問などにざっくばらんに回答し、指令情報センターをさらに理解していただくため「Another Voice」を掲載します。

「指令情報センターの役割」
公式YouTubeにて放映中！



藤原

消平

360度！つまり大阪を丸ごと監視してるスパイ映画みたいですね。でも、なんでこれほどのハイテクなカメラを設置したんですか？

簡単にいうと、昔の「火の見やぐら」の現代バージョン。かつては人が目で火事を探していたけど、万が一にも人の目だけの監視で見逃してしまうことがない様に、今はワンタッチで6基全ての災害地点に振り向けられる超高感度カメラで監視しているんだ。13km先までズームできるレンズ、霧やもやを除去する機能、強風でもブレ知らずの画像処理機能が備わっていて、秘密兵器満載なんだ！



高所カメラからの映像

藤原

消平

ええっ！それはすごいですね！！そんなに見られちゃうと緊張しますが、しっかりと監視してもらって、みんな安心してですね。もう少し詳しく教えてください。

よし。まずは、高所カメラの設置場所について説明するね。

高所カメラが設置されている市内3カ所の、まず1つ目は、阿倍野区にある、あの日本で2番目に高いあのハルカスの屋上、高さ約300m！空を支配しているレベルだね。2つ目は北区にある「OAPタワー」、高さ約176m。3つ目は西区にある消防局庁舎の無線アンテナ塔で、これまた高さ約120m。どれも360度カメラが2基ずつ、市内全体を見渡すハイテクな目だよ！

藤原

消平

藤原士長、こんにちは！先日の火災現場で「高所カメラ情報煙気あり！」って耳にしたんですが、正直、「高所カメラ」って謎めいた存在なんですよね。教えてください！

消平くんこんにちは。

ナイスな質問だね。その謎めいた存在の正式名称は、「高所カメラ情報収集システム」……ちよつと長いから、我々は「高所カメラ」って呼んでるよ。大阪市内に3カ所、松原市にも1カ所設置済み！さらに最近では、市内北部の一部地域において高所カメラの死角が生じる場所を確認するために、大阪指令センターと連携したカメラ映像をチャリと観るようになってるんだ。基本的には大阪市内の3カ所がフル稼働で、24時間365日大阪市内をスパイの目で監視してるよ！

消平

藤原

消平

藤原

消平

藤原

消平

もし現場でもその映像が見られたら最強ですね。でも、以前はどうだったんですか？

昔は各署所にあるPCかひかを見るのができなくて、外で確認することができなかったんだ。今は最新のシステムで各隊に配布された受令端末からも見られる。つまり、車内でも移動中でも映像確認OKさ！

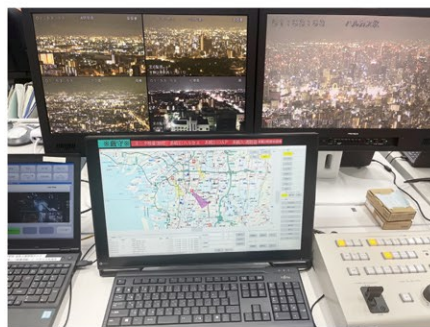
僕、また受令端末を使いこなせていないんですよ……

心配！無用！そのうち慣れるさ。今日は操作説明については省くけど、後でちよつと触ってみるといいよ。大事なものは、安全確保と戦術を考えながら、高所カメラやライブ映像リアルタイムに情報共有できること！これで現場力は+100点だ！

なるほど……高所カメラって、ただの監視用じゃなくて、災害対応の頼れる仲間だったんですね！

その通り！これからは無線や受令端末を駆使して、指令情報センターと出場隊が丸ごと災害現場を攻略する時代だ！

よし！カメラも端末もフル活用できるよう、日々業務に励みます！藤原士長、ありがとうございます！



指令情報センター内の高所カメラ映像

藤原

消平

藤原

消平

今どきのカメラ、映画のCGみたいですね！実際、指令情報センターではどのように使われているのですか？

主に3つ！

- ① 119番通報時に、通報内容と災害映像を照合して災害場所の特定&出場中の消防隊へ現場イメージ共有
- ② 消防隊が到着前に火勢や煙の量を確認して早めの増強部隊判断
- ③ 大規模災害や震災時の情報収集

被災状況、海岸線や津波、河川の増水も監視できるし、花火大会や大阪マラソンの混雑もパッチリチェックできるよ！

万能選手ですね！火事以外にも何でもこいつで感じですか？

まさにその通り。規模や種類を問わず、カメラが捉えられる場所であればリアルな現場の状況をダイレクト確認。警防対策の初動判断も精度が跳ね上がるぞ！

人材育成の ヒント Vol.8



こんにちは、高度専門教育訓練センター人材育成担当です。
このコーナーでは人材育成を推進するにあたり、指導をする上で役立つ「ヒント」を掲載しています。
皆さまの指導者としての能力向上にむけ、職場でのより良い人材育成につながることを願っております。

－ 伝えるちからとは －

自分の考えや意見、知識などを他者に正確に伝えるコミュニケーション能力のことです。話上手な人も苦手な人も、職場やプライベートなどのあらゆる場面で、円滑に自らの考えを伝えることができれば良いですね！

でも、聞き手が負担とを感じるような伝え方（声量・スピード・表情など）では、相手に上手く伝わらないかもしれません。ここでは、指示命令や指導助言を行う日々の業務で必須となるスキル、言葉（会話）で伝える能力にフォーカスし、みなさんと考えていきたいと思います。

◎ 上手く伝えられない人の特徴

- ① 何を伝えたいのかわからない ② 自分の言いたいことだけを話す ③ 伝えることに必死

上記の3点に心当たりのある方は以下の特徴を意識してみましょう！



◎ 伝える力がある人の特徴

- 相手の理解度に話を合わせられる。
- 伝えたい内容を明確に理解している。
- 話の道筋を立てて論理的に話している。
- 一方通行で話さない。
- 記憶に残りやすい言葉を選んでいる。
- 聞き手に共感しながら話している。
- 相手の反応によって伝え方を変えている。
- 「たとえ話」がわかりやすい。



根拠がある会話

会話に根拠（客観的事実・一般論・ルールなど）を用いると、相手が理解しやすくなり、説得力をもたせることができます。ただその根拠となる事柄は、正当性が求められます。自らの「偏見」や「先入観」を含めることは控えなければいけません。客観的なデータから論理的に判断した結論を示すことで、はじめて説得力のある説明「伝わる内容」となります。

特に職場で指導する場面では、相手を説得するために強引な論理付けを行っていないか注意が必要です。日頃から客観的な視点で物事を判断する意識を持つておきましょう。

担当者Tのおもやま話

目玉焼きには何の調味料をかけますか？私はソース派ですが、醤油派を否定する訳ではありません。しかし、どちらが良いかといわれるとソースを選びます。全国的には圧倒的に醤油派が多く、ソース派は特に関西地方で多く見られるそうです。中にはケチャップやドレッシングなどをかける方もいます。人それぞれ好みは異なりますので、一人ひとりの個性を認めることで、醤油派とソース派が理解しあえる日が、いつかくることでしょう。こういった気軽な話題で意見を伝え合うのも、良い会話のトレーニングになるかもしれませんね。

ケイボウタイムズ

～警防課の「いま」を伝える～

第19回 災害現場の安全を支える新資器材

警防課〈本部特別高度救助隊〉

災害現場での活動を支える「警防部 警防課」。

「ケイボウタイムズ」では、毎号、警防課の各担当による「この時期だから伝えたい」旬なネタを掲載するほか、警防課が取り組む施策や事業についてお伝えします。

はじめに

本部特別高度救助隊には、総務省消防庁から無償貸与されている、さまざまな資器材があります。今回はその中から、災害現場での安全な対応を支える機器として配備された、「ハイスペックドローン HAYATE」と「建物崩壊・土砂監視センサー」にスポットを当て、実際の使用事例を交えてご紹介します。



ハイスペックドローン HAYATE

ハイスペックドローン HAYATE

ハイスペックドローン（以下、「ドローン」とする）は、緊急消防援助隊出動災害において有効活用できるよう、消防庁より配備されているものです。災害発生前後の被災地の状況を比較し、効果的な救助活動を行うため、空撮した写真から地図画像（オルソ画像、写真1）を作成することができ、作成された画像を分析することで被災状況を把握し、活動内容や救助活動の方針決定に大いに役立てることができます。

また、このドローンには、地図画像作成ツールを搭載したパソコンや、リアルタイムで撮影した動画を消防庁や消防本部等に共有する映像伝送装置も備わっています。これらの機器の連携により、関係機関や指揮支援隊等が同時に最新の現場情報を取得することでの確かな指揮判断が可能となり、より効果的な部隊活動へとつながります。

ドローン本体は24分間の飛行が可能で、静止画6K、動画4Kの高機能カメラを搭載しており、撮影を含む約1時間で詳細な地図画像の作成が完了します。

■ドローンの活用例

令和6年9月に発生した奥能登豪雨では、塚田川（輪島市）の河川状況を確認する際にドローンを活用し、現地の地形や家屋の被災状況をオルソ画像で可視化しました。これにより、従来の地形と比較することで、被害範囲が一目で判断できました。

資器材の運用時には、周囲建物の状況や飛行場所・時間について他機関やヘリコプター等とも調整を行い、事故防止にも努めています。

建物崩壊・土砂監視センサー

確実かつ迅速な救助活動のためには、大前提として消防隊員自身の安全確保が極めて重要となります。特に大規模災害時は、余震による建物崩壊や土砂再崩落など、二次災害の危険性が高まります。そのため、これらの危険兆候をいち早く検知し、活動隊員へ警告を発することができる資器材として、全都道府県の緊急消防援助隊に配備されているのが「建物崩壊・土砂監視センサー」（写真2）です。（以下、「センサー」とする）

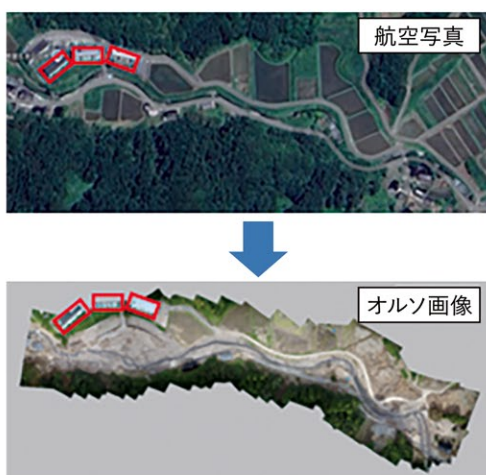


写真1 塚田川の河川状況を可視化したオルソ画像

センサーは、本体から照射されるレーザーによって対象物との距離を常時測定し、設定された一定範囲（1mmから100mmの間で設定可能）を超えるとアラームが作動します。誤差±1mmの精度で7段階（2mm、5mm、10mm、20mm、40mm、70mm、100mm）の設定が可能であり、対象物のわずかな動きも見逃すことなく、周囲に迅速に異常を伝達することができます。

センサーは本体、バッテリー、リモコンで構成されており、対象物から本体まで最大50m、本体からリモコンまで最大100m離れていても監視が可能です。現場で指揮者が最大150mの距離を取ってもリアルタイムに対象物の変化を捉えることができ、活動隊員の安全確保に大きく寄与しています。

例えば土砂災害の危険がある現場では、資器材を上流側に設置することで、検知後いち早く土砂崩れを知らせ、避難対応が可能となります。また、火災現場の建物倒壊予兆が懸念される際にも、距離変化により事前に倒壊の危険性を察知することが可能です。

令和6年9月奥能登豪雨では、このセンサーを活用し、土砂面上方側の岩に照射して土砂崩れの有無を監視しました。

おわりに

いつどこで発生してもおかしくない大規模災害に対応できるよう、日々、研鑽に努めることが、本部特別高度救助隊の重要な任務の一つです。これらの高度資器材についても、その活用方法を徹底して習得し、被災地での効果的な救助活動と隊員の安全確保の一助となるよう、今後も取り組んでまいります。



写真2 建物崩壊・土砂監視センサー

令和6年奥能登豪雨の現場（左）。土砂面上方側の岩に照射して、土砂崩れの有無を監視している。

今回のテーマは「誤搬送」

(救急部救急課)

このコーナーでは、「安全文化の醸成と安全管理の徹底」を図ることを目的に、消火・救助・救急など過去の負傷事例を振り返り、事例からの学びについて紹介していきます。ここで紹介する内容が、皆さんの日々の活動に役立ち、プロフェッショナルとしての安全意識をさらに高める一助となることを願っています。

今回は、症状の悪化や専門的治療開始の遅延を招く可能性のある、誤搬送について紹介します。

過去の事例

誤搬送による影響

A病院を経由後、B病院への搬送となり、A病院で初期対応は実施されたが、本来の病院到着時間より遅延した。そのため、専門的治療開始の遅れにつながる可能性もあった。このような場合、病院到着遅延により症状が悪化するリスクがある。また、消防行政に対する信用失墜にもつながる。

過去の事例からも分かるように、誤搬送を防ぐためには、日常的に以下のような確認を行うことが重要。

● 誤搬送発生防止策

- ① 機関員とのダブルチェック (発信時及び病院決定時)
- ② 発信前画面での病院名の確認
- ③ 通話冒頭での医療機関名の確認
似ている医療機関名の病院があるため、発信時は注意する。
(△△区の〇〇病院ですか?)
- ④ 通話終了後の発信履歴の確認



※発信時に機関員へ搬送連絡実施病院を伝えることで、円滑な搬送経路の選定が可能となり、交通事故防止にもつながる。

上記の誤搬送発生防止策を確実に実践するためには「習慣化」が大切です。普段からの行動を習慣化することで間違いや抜けが発生した際の違和感に気づくことができ、誤搬送などを未然に防ぐことができます。



誤搬送発生防止策動画

過去からの学び

▶ (参考) 誤搬送を防ぐことができた事例

小隊長が傷病者横で搬送連絡を実施。機関員は運転席に乗車。小隊長は日常的に搬送連絡開始前に搬送連絡実施医療機関名を機関員に口頭で伝えてから搬送連絡を実施しており、本事案も同様に実施していた。搬送先が決定し出発前に小隊長が機関員に再度搬送先病院を口頭で伝えたところ、搬送先病院の相違が確認でき、誤搬送を未然に防ぐことができた。(小隊長はA病院に搬送連絡していたが、機関員はB病院に搬送連絡していると思い込んでいた。)(インシデントレポートから抜粋)

やっぴい

当局では「Quick Study」で過去の事例を学び、「インシデントレポート」で自身の活動を振り返りながら、発生原因や改善策を考える機会を設けることで、危機管理能力の向上を図っています。

誤搬送は、隊全体で救急活動要領に従い、ダブルチェック等を行い全員で確認し合うことで多角的にアクシデントを防ぐことができます。活動方針や危険因子の情報共有のための「ブリーフィング」を行い、事故発生防止に努めていきましょう。

このコーナーでは、日常生活の中で遭遇する突然の災害に対して、どのようなソナエが必要か、皆さんにわかりやすくお伝えしていきます。

いざという時のために、一緒に学んで備えましょう。



のソナエ の教室

みんなで
学ぼう

今回は…

停電(暗中)

へのソナエです

地震などの自然災害が起こると、停電が発生することがあります。

2018年6月の大阪北部地震では大阪府広域で停電が発生しました。

もし・・・夜間に停電が発生すれば、周囲はたちまち暗闇に包まれてしまいます。

暗闇での避難は、壁や家具などにぶつかったり、転倒したり、割れたガラスでケガをするなど危険がいっぱいです。突然の暗闇への備えはできていますか？

今すぐ出来るソナエ

明かりの確保



懐中電灯
ランタン

暗闇でもすぐに取り出せるよう、場所を確認しておこう！



足元灯

停電時に自動点灯する懐中電灯を兼ねたタイプが有効。

整理整頓



暗闇の中での避難時に、つまづいて転倒しないよう、日頃から整理整頓に努めよう！
特に廊下や階段には荷物などを置かないようにしましょう。

スリッパの準備



地震の場合は、割れたガラスなどが散乱しています。
スリッパや靴など、暗闇の中でも、すぐに履けるように備えておこう！

万が一に
備えて

暗闇での行動を確認

暗闇で避難するときは…



「壁伝いに歩く」

暗闇では、自分がどこにいるのか、どの方向に向いているのか、が分からなくなるので、壁伝いに確認しながら慎重に歩こう！

「すり足で歩く」

障害物や飛散物、階段などで転倒や転落しないように状況を確認しながら、すり足で歩こう！

屋外も暗闇

災害状況によっては、速やかに安全な場所まで避難する必要があります。

避難場所までの道も暗闇かもしれないので、事前に避難場所や避難ルートを確認しておこう！



家族など複数人で避難する場合は、声をかけ合い、自分達の位置を確認しながら、肩を持って、はぐれないように行動することも大切。

市民消防教室では、暗闇が体験でき、火災の時や自然災害による停電など、煙や暗闇で視界が見通せない中を安全に避難する方法が学べる「暗闇体験日」を開催しています。

阪神淡路大震災の被災経験がある方は体験後に、「まさにこんな感じでした！」と仰っていました。

何も見えない真っ暗闇の臨場感を体験し、暗闇での安全な行動を学んでください。

今年度は、令和8年2月13日(金)開催予定となっています。(※大阪市に在住・在勤・在学している方が対象です。)

市民消防教室の詳細については、大阪市消防局ホームページにてご確認くださいませ。



大阪市消防局ホームページ
「市民消防教室について」

救急安心センターおおさかー概要とその意義についてー

はじめに

大阪府内で救急医療の適正利用を推進するうえで、欠かすことのできない存在となっているのが「救急安心センターおおさか（以下、「当センター」という。）」です。当センターは、突然の病気やけがで、「救急車を呼んだ方がいいのか？」「近くの救急病院はどこにあるのか？」等の電話相談を、大阪府内全域から24時間365日、医師監督の下で看護師が受け付けており、消防職員も24時間常駐しています。

今回は、当センターの事業内容をご紹介しますとともに、その意義について考察します。

事業内容の柱は電話による二つの相談業務

当センターでは、「救急医療相談」と「医療機関案内」を主に行っています。

救急医療相談では、府民からの症状等に関する相談に対して、看護師が専用の緊急度判定プロト

赤 (緊急)	➡ 119転送通報必要
橙 (準緊急)	➡ 今すぐ受診必要 (救急車以外)
黄 (低緊急)	➡ これから受診必要 (6時間が目安)
緑 (非緊急)	➡ 当日 or 翌日以降 に受診必要
白 (非緊急)	➡ 現時点で受診必要 なし

図1 緊急度の判定（プロトコル）

コル（対応手順）を用いて判断し、必要に応じて119番へ転送、もしくは医療機関受診のタイミング等を助言します（図1）。昨年は約21万件の相談がありました。

医療機関案内では、相談者の発信地域をもとに、受診可能な最寄りの救急医療機関を案内しています。こちらについては、昨年約10万件の利用がありました。一方、当センターでは、薬剤の使い方や治療方法、健康増進、介護・育児に関する相談等には対応していません。しかし、これらに該当する相談は相当数あり、令和6年中には約3万件に上りました。

当センターの令和6年中の着信件数は約34万件で、全国でも東京都に次ぐ2番目の多さとなっています（図2）。これは当センターへの需要の高まりと、府民への認知度が高まってきたことの表れでもあると考えています。

当センターの事業効果

当センターにおける令和6年中の救急医療相談約21万件のうち、約2万4千件について「救急搬送が必要」と判断されています。そのうち、本人の同意を得たうえで、直ちに119番へ通話を転送するシステムにより救急搬送され、重症、

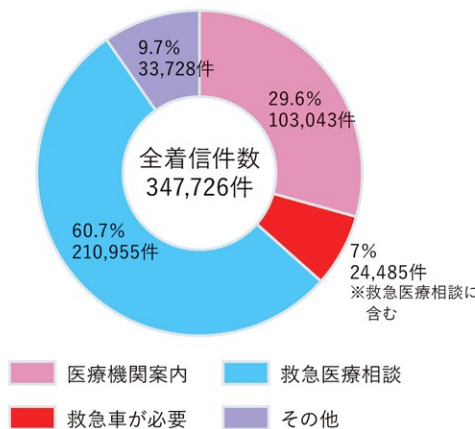


図2 令和6年着信件数の内訳

もしくは中等症と診断された方の割合は約20%でした。このことは、本システムが、潜在する重傷者の救護にも寄与している結果であると考えています。

また、不急の救急出動の抑制についても、一定の成果が見られます。救急出場件数全体（大阪市）での軽症率は、当センター導入当初の平成21年は約60%と高い値でした。その後、徐々に低下した結果、令和6年には56.6%となっています（図3）。これについても、適切なトリアージとアドバイスが、不急の救急出場抑制の一助になっているためと考えられます。

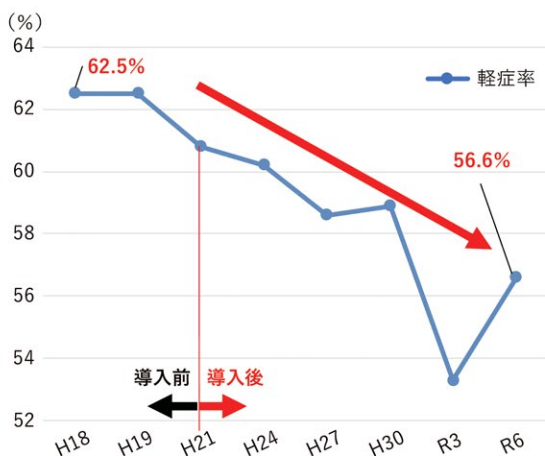


図3 救急搬送人員における軽症率の推移

救急安心センターおおさかQ&A

Q1 利用するには、料金がかかりますか？

A1 相談は無料ですが、通話料金は相談者の負担となります。

Q2 当センターから119番転送となったもののなかに、軽症が一定数以上含まれるのはなぜですか？

A2 電話相談の特性上、視覚情報を得ることができないため、オーバートリアージになることがあります。しかし、全て判定通りに119番転送しているのではなく、医師に相談・判断を仰ぎ、赤判定（119番転送必要）から橙判定（救急車以外で受診）への判定区分の見直しを年間約2万件行っており、救急需要の抑制に効果を発揮しています。

Q3 119番転送した事案について、調査等を行っていますか？

A3 当センターで119番転送した利用者について、入院率や傷病名を定期的に調査しています。その結果得られたデータは、プロトコル判定や案内が正しかったかどうかを医師等の有識者による会議で検証する際に活用します。令和6年の改訂では、赤判定である必要なしと判断された約50コードを橙判定へ見直したところ、119番転送の割合が約2%低下しました。

当センターから利用者へお願い

お盆、年末年始などの長期休暇中は、かかりつけの診療所や病院が休診になることが多く、当センターへの着信が増加し、つながりにくくなる場合があります。普段から通院している方には、診療時間を事前に確認し、症状が悪化したときの対応方法をあらかじめかかりつけ医に相談しておくことや、体調が優れない時は事前に受診することをお勧めします。

万一、当センターに電話が繋がらない場合には、診療所を含めた医療機関を案内する「大阪府救急医療情報センター」や、夜間に子どもが急病で困ったときにアドバイスを受けることができる「小児救急電話相談（#8000）」があります。また、緊急度については、総務省消防庁の「全国版救急受診アプリ（Q助）」でも判定でき、診療所を含めた医療機関については厚生労働省の「医療情報ネット（ナビイ）」でも検索できます。

おわりに

府民の皆様には、当センター以外の検索システムの活用も促すとともに、引き続き当センターの事業内容を広報し、より一層、救急安心を提供できるよう取り組んでまいります。

「調べて、広めて、市民を守る。」

出火前



今回は、木造長屋のミニチュア模型で焼けの見方と延焼経路について取り上げるよ！
 上の写真は出火前の長屋だよ。各部屋は区画されていて、開口部は階段部分のみだね。各部屋に内在品は何も置いてないよ！



出火後



右の写真から出火室を予想してみてね。焼けがある部屋に①から⑥の番号をつけたよ。

～1階を見ていこう～

1階の①と②の部屋を比較すると①の部屋は階段と天井の一部に焼けがあり、ほとんど焼けずに残っているね。一方で②の部屋は階段が焼失し、天井や壁の一部も焼失、炭化亀裂痕も見られるね！

つまり、②の部屋の方が①の部屋と比べて焼けが強いね！

※木材の焼けは、地色→変色→焦げ→炭化→剥離→焼失の順に強くなるよ。(炭化亀裂痕に関しては前月号でも説明しているよ！)

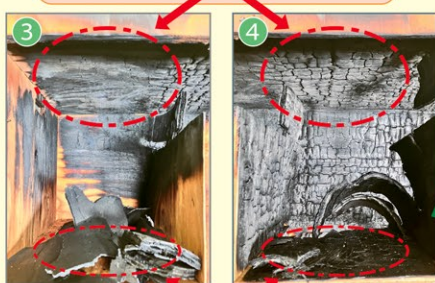


実録!! 調査鑑識



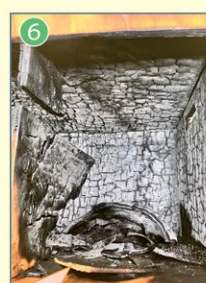
～2階を見ていこう～

屋根裏上部を比較すると、
④の方が炭化亀裂痕が深いね！



③の部屋の床や床付近の壁は燃えていないけど、④の部屋の同じ箇所は焼けているね。なので、④の部屋の方が出火箇所に近いことが分かるよ！

左壁は形を保ったままだが、右壁は焼失、変形している。左側より右側の焼けが強い。



⑥の部屋は床が焼けておらず、⑤の部屋と比較して焼けは強くないね！

以上のことから、2階で一番出火室に近いのは⑤の部屋だね！

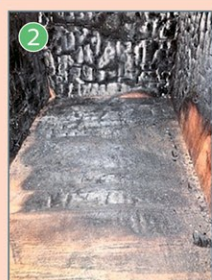


出火室が1階の②の部屋か2階の⑤の部屋か迷うね。1階から炎が上がって2階の各部屋や屋根裏へ延焼したようにも見えるし、2階から屋根裏に延焼し、その後、2階の各部屋や1階へ焼け下ったようにも見えるね…
右の**出火時の映像**で、出火箇所と延焼経路を確認してみよう！



出火時の映像

ここからは右上の出火時の映像を見てから読んでね

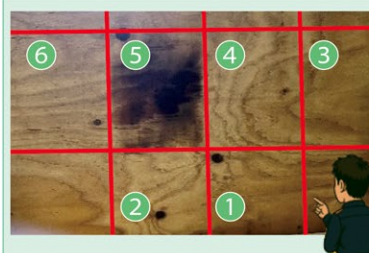


ざんざ
(残渣を取り除いた状態)

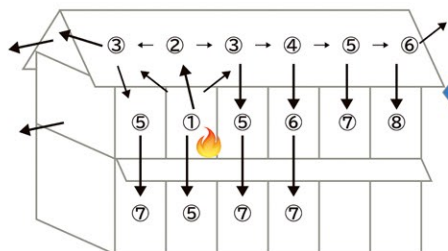


出火室を検討していこう！

⑤の部屋の床はほとんど焼失し、炭化亀裂痕も残っているけど、②の部屋の床はあまり焼けていないよね！
②の部屋の床から炎が立ち上がった場合、②の部屋の床はもっと焼けが強くなるよ！



また、建物の裏側を見ると⑤の部屋の壁だけ焼けていることが分かるね！



(木造建物 2階出火の延焼経路)

以上のことから、2階の⑤の部屋から出火したことが分かるね！
今回のように木造建物の2階から出火した時は、このように延焼していくよ！

出火室を検討する際、床を出して焼けの強さを見ることはとても重要なんだ。あと、建物を俯瞰で見たり、建物の裏側等を見ることが出火場所や出火室を検討する上で大切だね！
出火室は予想できたかな？次号も見てね！

視察研修

陸上自衛隊 信太山駐屯地



ウィアー ルーキーズ！

大阪府立消防学校 初任教育生 月間報告

We are Rookies!

8月

8月22日に大阪府和泉市に所在する陸上自衛隊・信太山駐屯地で、視察研修を行いました。

本視察研修は、国民（市民）の生命及び財産を保護する防災機関である自衛隊の組織体制を学び、また施設、装備の見学を通して自衛隊の規律保持や使命感、統率力のあり方を学ぶことを目的としています。

初任教育生は、訓練見学や自衛隊学生と意見交換会を実施し、お互いの志望動機や学校生活などの情報共有を行いました。自衛隊学生と意見交換をすることにより、互いの経験をかち合い、更なる士気の向上に繋がりました。

信太山駐屯地の皆様、熱心で丁寧なご指導、本当にありがとうございました。消防学校生活も残り約1ヵ月、この研修経験を訓練等に活かしてほしいです。

初任教育生の成長にご期待ください。



信太山駐屯地の皆様ありがとうございました！

校外研修

実践火災想定



三連はしご訓練



渡過訓練



降下訓練



学生は、府立消防学校で学んだ技術を発揮しようとしたが、慣れない環境下ということもあり、戸惑っている学生も見受けられました。

いっどこで発生するかわからない災害現場で実力を発揮する困難性を痛感し、この経験を糧に今後はより一層の知識や技術の向上に努めてほしいと思います。

校外研修は、基礎的な消火訓練及び救助訓練を行い、所属帰任時の現場対応能力の向上に加え、高度専門教育訓練センターと府立消防学校による合同での訓練指導により、教官の指導能力の向上や府市連携を図ることを目的としています。

第118回初任教育生の訓練がいよいよ大詰めとなった8月26日、27日の2日間にわたり『校外研修』を大阪市高度専門教育訓練センターで実施しました。

校外研修は、基礎的な消火訓練及び救助訓練を行い、所属帰任時の現場対応能力の向上に加え、高度専門教育訓練センターと府立消防学校による合同での訓練指導により、教官の指導能力の向上や府市連携を図ることを目的としています。



枚方寝屋川消防組合

「全庁的な住宅防火・防災対策」を実施しました！

枚方寝屋川消防組合では、9月1日から21日の住宅防火・防災キャンペーンにあわせ、全職員の人的リソースを投入した「全庁的な住宅防火・防災対策」を実施しました。

短期間で集中的に取り組むことで大きなインパクトを与えることを狙い、住宅用火災警報器の普及促進と感震ブレイカーの認知拡大を試みました。

具体的には、木造密集地域など火災危険が高い地域を中心に、住宅用火災警報器の設置や維持管理の状況などを確認し、リーフレットや動画を活用して説明を行う「住宅防火・防災一斉調査」や、商業施設や地域の花火大会など、多くの人が集まる場所で「防火・防災イベント」を行い、効果的に防火・防災の重要性を伝えることができました。

全職員が同じ目的に向かって集中して行動し、地域に直接働きかける取り組みを実現しました。

今回の取り組みをまとめたコマーシャル動画も作成しましたのでぜひご視聴ください！



【コマーシャル動画】



岸和田市消防本部

9月9日救急の日のイベントとして「救急フェア」を開催しました！

岸和田市消防本部では、令和7年9月、市内ショッピングモールの「ラパーク岸和田」で応急手当の普及啓発、救急車の適正利用、救急業務を理解していただくため「救急フェア」を実施しました。

AED・胸骨圧迫体験、救急資器材の展示・紹介、防火服体験、救急車展示・車内資器材の展示、救急活動展示（救急活動SHOW!）を行いました。各ブースではスタンプラリーを実施し、岸和田消防マスコット「きしぼう」と記念撮影など、お子さんにも楽しく体験していただきました。

また、市内救急医療機関にもご協力いただき、岸和田市民病院看護師による医療相談や岸和田徳洲会病院ラピッドレスポンスカーの展示を行いました。

参加者からは「胸骨圧迫のやり方がわかった」や「救急隊の活動を見てよかった」と喜びの声をいただきました。市民の方々に応急手当、救急車の適正利用や救急業務について理解を深めてもらいました。



春の全国火災予防運動
防火作品ポスター

秋の全国火災予防運動
防火作品ポスター

箕面市消防本部 令和7年度箕面市防火作品審査会

箕面市消防本部では、9月3日に市内の小・中学生を対象に「防火作品審査会」を開催しました。夏休み期間中に募集した防火をテーマとした図画や習字は、応募総数877点にのぼり、審査会場には子どもたちの思いがこめられた力作がずらりと並びました。

審査員からは「毎年作品を見るのを楽しみにしている」との声もあり、どの作品も表現力にあふれており、審査はたいへん難航しましたが、最終的に図画20点と習字20点が優秀作品として選ばれました。

これらの作品は、10月31日から11月16日まで、市内2カ所の公共施設で展示され、11月には選ばれた児童・生徒を対象に消防本部で表彰式を行います。

さらに、特に防火啓発にふさわしいと評価された図画2点は、秋と春の全国火災予防運動にかかるポスターとして採用され、市内各施設及び事業所に掲示されます。

消防本部では、こうした取組を通じて子どもたちと市民の防火意識の向上につなげていきます。



摂津市消防本部 立て坑救助訓練を実施

摂津市消防本部では、近年、増加している老朽化した下水管の破裂等による道路陥没やマンホール内で発生した事故への対応力向上のため、マンホール内点検作業中の転落事故を想定した「立て坑救助訓練」を実施しました。老朽化が進む下水道施設では、事故のリスクが顕在化しているため、迅速かつ確かな対応が求められます。

今回の訓練では、本市上下水道部下水道事業課の協力のもと、下水管に関する座学を受講した後、市内の下水管を使用し、実戦に近い環境下での救助訓練を行いました。これにより、現場での対応力を高めるとともに、関係機関との連携強化にもつながり、災害発生時の初動対応の充実を図ることができました。

災害対応に従事する職員として、市民の生命と財産を守る使命を胸に、信頼に応えるべく日々研鑽を積んでおります。

今後も関係機関との合同訓練や研修を継続し、災害対応能力のさらなる向上に努めてまいります。

令和6年中の規制対象物における火災発生状況(3)

予防部予防課

はじめに

前号では、予防課が分析した令和6年中に発生した建物火災のうち、規制対象物の火災発生時における避難、通報、消火活動実態等をご紹介します。

今月号では、火災発生時における消防用設備等の使用(作動)状況を見ていきます。

消火設備

■消火器の使用状況

規制対象物の火災435件のうち、出火当時に消火器が設置されていた対象物での火災は415件でした。(図) そのうち消火器を使用した火災は135件あり、完全消火または延焼阻止できたものが99件で、消火器を使用した火災の73・3%でした。

また、使用したものの効果がなかった火災は36件あり、その主な理由は表1の通りです。

一方、消火器を使用しなかった火災は280件で、そのうち消火の必要があったが使用しなかった火災は110件あり、その主な理由は表2の通りでした。

表1 有効に消火できなかった理由

有効に消火剤がかからなかった	5件
濃煙が充満していた	4件
発見が遅れた	4件
あわてていて消火できなかった	2件
多量の可燃物に着火後急激に拡大した	2件
消火設備の消火剤不足	2件
消火困難場所に延焼又は出火	2件
その他	15件
合 計	36件

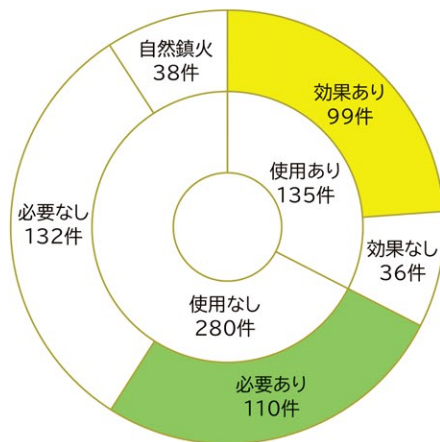


図 消火器の使用状況(総数415件)

表2 消火器を使用しなかった理由

施錠のため室内進入不能	14件
出火場所がわからなかった	14件
避難に重点をおいた	12件
あわてていて消火できなかった	8件
出火箇所がわからなかった	7件
施錠のため建物内への進入不能	7件
濃煙が充満していた	6件
消火困難場所に延焼又は出火	5件
無人又は不在だった	4件
発見が遅れた	3件
ダクト内に延焼し又は出火した	3件
通報している間に拡大した	3件
消火方法がわからなかった	2件
感電・爆発等の危険を感じた	2件
消火設備の設置場所がわからず	2件
その他	18件
合 計	110件

■屋内消火栓設備の使用状況

規制対象物の火災435件のうち、出火当時に屋内消火栓設備が設置されていた対象物での火災は100件で、そのうち屋内消火栓設備が使用されたものは5件(5・0%)でした。

屋内消火栓設備を使用しなかった火災は95件(95・0%)あり、そのうち56件は火災が小規模等であつたため同設備を使用するに至りませんでした。

一方、消火の必要はあつたが同設備を使用しなかった火災は24件あり、その主な理由は表3の通りです。

表3 屋内消火栓設備を使用しなかった理由

出火箇所がわからなかった	4件
出火場所がわからなかった	3件
施錠のため室内への進入不能	3件
避難に重点をおいた	2件
濃煙が充満していた	2件
あわてていて消火できなかった	2件
消火困難場所に延焼又は出火	2件
その他	6件
合 計	24件

■スプリンクラー設備の作動状況

規制対象物の火災435件のうち、出火当時にスプリンクラー設備が設置されていた対象物での火災は62件あり、そのうち9件(14・5%)で作動。一方、作動しなかった火災は53件(85・5%)あり、作動しなかった理由は、「自然鎮火したもの」、「スプリンクラー設備が作動するほど火災が拡大しなかったもの」、「出火箇所がスプリンクラーヘッド不要の場所であったため作動しなかったもの」などでした。

警報設備

■自動火災報知設備の作動状況と効果

規制対象物の火災435件のうち、出火当時に自動火災報知設備が設置されていた対象物での火災は328件でした。そのうち189件(57・6%)で自動火災報知設備が作動し、初期消火や通報、避難を促す等、所期の目的を達成しました。

一方、作動しなかった火災は139件(42・4%)

で、そのうち火災が小規模等の理由により作動に至らなかったものが67件、法定警戒不要部分での出火が10件、不詳・その他が62件でした。

なお、火災の発生した規制対象物の1件あたりの焼損床面積と比較すると、設置済みが3・1㎡、未設置が7・8㎡で、自動火災報知設備の設置による被害軽減の効果が顕著であることが示されました。

■非常警報設備・器具の使用状況と効果

規制対象物の火災435件のうち、出火当時に非常警報設備または器具が設置されていた対象物での火災は44件でした。そのうち14件(31・8%)で非常警報設備又は器具が使用され、通報や避難を促す等、所期の目的を達成しました。一方、使用しなかった火災は30件(68・2%)でした。

規制対象物における火災発生状況

―まとめと火災予防対策―

規制対象物での出火原因は、1位「電気製品」、2位「たばこ」、3位「電気配線類」、4位「ガスこんろ」、5位「天ぷら油」という結果となりました。

規制対象物における火災の特徴としては、共同住宅等での出火が大半を占めていることや、近年、電気関係の火災の割合が増加していることが挙げられます。引き続き、市民に対する火災広報や火災予防対策を推進していく必要があるといえます。

火災の発生や被害の程度については、防火管理と深い関係があります。平成13年9月に多数の死

傷者のあった新宿区歌舞伎町の雑居ビル火災では、被害が大きくなった要因として、避難階段に多くの物品が置かれていたため、急激に燃焼拡大し避難が困難だった等、防火管理が適切に行われていなかったことが指摘されています。防火管理が適切に行われている対象物は、階段・通路及び消防用設備等の維持管理が図られているだけでなく、防火に対する意識も高いと考えられます。

データをたどると、火災発生初期の段階で消防用設備等が適切に作動し活用されることにより、焼損床面積及び損害額が小さくとめられていることが分かります。その一方で、消防用設備等の使用方法が分からなかった、消火設備の設置場所が分からなかった等、消防用設備等に対する関心が低いと、火災発生初期に適切な行動ができない場合もあることがうかがえます。

おわりに

消防用設備等を万一の場合に確実に作動させまたは使用するためには、日常の点検をはじめ、定期的な外観点検及び機能点検の実施が重要です。立入検査や消防訓練指導等を通じて消防用設備等の効果や適切な維持管理の重要性を建物関係者に理解してもらえようように努め、安全な対象物の実現のために協力し取り組んでいきましょう。

ふるさと日記



このコーナーでは、大阪市消防局の職員が
素敵なふるさとをご紹介します！

Vol.2

やがため 矢堅目公園



島の北西部に位置し複雑な海岸線、断崖絶壁など迫力のある風景が一望できます。写真の大きな岩は、ジブリ映画でおなじみのトトロに似ていることから「トトロ岩」と呼ばれています。日中も絶景が広がりますが、夕日が沈むころには幻想的な風景が楽しめます。

しんかみごとうちよう
新上五島町

ハマシナ



島の北東部に位置し、透けるような青い海と白い砂浜が織りなす絶景は、日常の喧騒を忘れさせてくれます。

【ナベログおすすめグルメ】

刺身盛り

オススメは「ヒラス（ヒラマサ）」。青物でブリよりも身がしまっており、新鮮な魚の中でもダントツのNo.1です！



五島うどん

「あごだし」につけるのがオススメ。やみつきになること間違いなし！



かつとっぽ

ハコフグの中に味噌などを詰めてホイル焼きにした五島の郷土料理。居酒屋にあればラッキーです。



かしらがしまてんしのだう 頭ヶ島天主堂



島の東部に位置し、2001年に国の重要文化財に指定された石造りの教会。ステンドグラスの窓に光が差し込む光景は神秘的です。

「五島に来んかな！」
(来てください)



救急部救急課（救急指導）

渡辺 悠介

私の故郷である長崎県五島列島は長崎市から約100km西に位置しています。大小152の島々が連なる列島北部の中通島、新上五島町で育ちました。

五島の魅力は、何といってもエメラルドグリーンの美しい海。夏にはダイビングはもちろんのこと、黒潮から分岐した対馬暖流が良質な魚を育てるため「釣りの聖地」としても有名です。また、平成30年に世界遺産にも登録された29もの教会があり「祈りの島」とも呼ばれています。

特産品は、新鮮でおいしい魚のほか、「五島うどん」も有名で、細麺ですがコシがあり、あごだし（とびうお）との相性は抜群です。そして、ぜひ食べていただきたいのが、ハコフグの味噌焼き通称「かつとっぽ」です。味噌の濃厚な味わいにハコフグの淡泊な身が絶妙にマッチングし、日本酒に抜群に合います。

大阪府立消防学校出向中に初任教員生から別名「ナベログ教官」と呼ばれていた私が自信をもってオススメします！この記事をご覧になって興味を持たれた方は、ぜひ、

交通アクセス

伊丹空港 → 長崎空港 → 長崎港 → 上五島
〈飛行機利用 約4時間〉

新大阪駅 → 長崎駅 → 長崎港 → 上五島
〈新幹線利用 約6時間〉



「市民の声」から

明日のあなたの仕事に活かしたい

こんな声 届いています！

感謝の声

【消防署へのお礼】

○月に梅田でたばこのポイ捨て後にごみが燃えて、大惨事になるところだったというニュースがあり、一市民のこのようなモラルに欠ける行動が、大きな事件・事故につながるのだと、改めて考えさせられました。人間の行動を変えるのは容易ではありませんが、消防の皆様が消火活動・人命救助など、命がけのお仕事に懸命に取り組んでくださっていることは、間違いなく市民の防火に関するモラル向上につながっていると思います。

【救急隊へのお礼】

○月○日の午前中、○○医院から○○病院へ救急車で運んでもらいました。心筋梗塞との診断を受け、44日間入院しましたが、おかげさまで退院することができました。今はまだリハビリ中で、高齢でもあり自由は効きにくいですが、ぼちぼち生活できています。運んでくれた救急隊に御礼を伝えてください。

【消防隊へのお礼】

Xで○○消防署のみなさんが、子猫を救出している動画を見ました。賛否両論あるみたいですし、人命じゃないのにと思われる方もあると思いますが、野良である可能性が高いにも関わらず、猫ちゃんを救出してくれてありがとうございます！ これからも応援しています。

広聴担当からの コメント



日々私たちが行っている消防業務は、消防職員として当然の務めとはいえ、このように市民の期待に応えることができ、「感謝の声」を頂けることは大きな励みになります。常に市民に見られていることを自覚し、これからも市民の皆様のお気持ちに寄り添った、親切で丁寧な対応を心掛けていきましょう。

【救急隊の対応について】

母が急病の際に救急車を呼びました。隊長らしき人が、電話で病院の方に症状を説明している時の軽々しい態度が、とても気に障りました。病院到着後、結局、医師からは、母が重篤な状態だと説明を受けました。医師でもない人間に「どこの病院に行っても同じ感じですよ」「大きな病院に行きたいから救急車を呼んだのですね」などと、いろいろ言われた事が今でも無性に腹立たしく、人の命を助ける人の態度かと思うと悲しくなります。

広聴担当からの コメント



市民から寄せられたご意見の中には、消防職員の対応に不快感を覚えたという声もありました。私たちが意図して伝えた内容が、市民に全く異なる意味で受け取られてしまい、誤解を生んでしまうこともあります。

誤解を防ぐためには、もう一步踏み込んで相手の立場や状況に寄り添った言動を心掛けることが大切です。

消防職員は、市民から頼りにされる存在です。どのような状況でも、消防のプロとして「市民ファースト」の姿勢で対応できるよう努めましょう。

接
遇

落語

火の用心

今回のお噺『いもりの黒焼き』



「そなえ亭恐妻」でございます。

えー、皆さま、今月も真っ先にお読みいただき、ありがたく御礼申し上げます。

今回ご紹介するのは「いもりの黒焼き」というお噺です。

なんや気色の悪いタイトルですが、少し調べてみますと、「黒焼き」とは文字どおり、動植物や木の実を黒くなるまで蒸し焼きにしたものを粉状にしたもので、頭痛や腹痛をはじめとする体調不良の薬として用いられていたそうです。江戸時代、大坂でも黒焼き屋が繁盛したそうですよ。

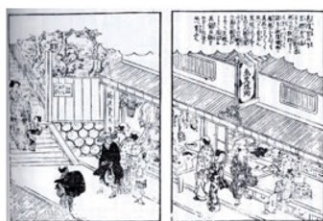
さて、お噺の方は、米屋の娘に惚れた喜六。甚兵衛さんに相談すると、高津宮の近くの黒焼き屋で売っているいもりの黒焼きは、交尾中のいもりを無理やり引き離して別々のつばに入れて蒸し焼きにしたもので、オスのいもりの粉末を自分になりにかけ、メスの方の粉末を意中の相手にふりかければ、相手に恋心を起こさせ娘の方から喜六に寄ってくるかと教えられます。早速、黒焼き屋でいもりの黒焼きを手に入れた喜六は、米屋の娘に粉末をかけようと思いますが、風がびゅうと吹いて…



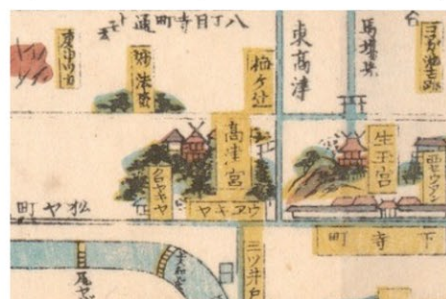
*江戸時代天保年間に発行された古地図「浪華名所獨案内」をご覧くださいの方は Stroy の公開地図が便利です。

https://viewer.stroy.com/_OP_Rumsey5502Osaka1830_jhm000538a/?room=stroy

6月号で紹介しました「延陽伯」というお噺にも登場した「高津宮・高津神社（こうづぐう・こうづじんじや）」。古くから大阪の文化の中心として賑わってきた高津宮の西坂を下りたところに、戦前まで大阪名物の黒焼き屋が二軒あり、惚れ薬の「いもりの黒焼き」の他にも「願かけのへび」などの奇妙な薬を売っていたそうです。実は、わたくし「なすの黒焼き」の歯磨き粉っていうものを以前に見たことがあります。が、こうした黒焼きは江戸時代よりもずっと前から使われていて、中には今日まで民間療法として伝えられているものもあるんですって、びっくりですね。



☆高津宮の下、黒焼き屋の店（摂津名所図会）



- *例
- ・風邪「みかんの黒焼き」
 - ・咳止め「かぼちゃのへたの黒焼き」
 - ・下痢「梅干しの黒焼き」
 - ・ぜんそく「昆布の黒焼き」
 - ・利尿作用「大根の黒焼き」 など

プチ上方言葉講座

「せんど」

【意味】

千回（転じて回数の多いこと）
たびたび・さんざん など

【使用例】

「せやから、あんな男に惚れたらあか
んて、せんど言うたのに。」



それでは、今月の消防落語は、高齢の祖母とのやり取りに、ほっこり温かい気持ちにさせられる、そなえ亭三葉による「おばあちゃんへのプレゼント」です。令和6年11月に「OBC ラジオまつり ふれあい広場」に出演した際の高座をアップしていますので、是非、ご覧ください。



大阪市消防局
公式 YouTube

淀橋広子の 広報講座



伝える広報から伝わる広報へ！
消防が行う広報について、部署を問わず
皆さんに知っておいてほしいことを
広報係長 淀橋広子が
レクチャーします。

淀橋広子>>> 前職は広報プランナー。人を助ける仕事に就きたいと消防の世界へ入った。
前職で培った経験を活かし、時代の変化に沿った効果的な情報発信のノウハウを
伝授したいと意気込む。

今回のテーマ
第3回
ウェブアクセシビリティ
配慮がいたらない
ポイント 編

1 ウェブアクセシビリティについて

前回の講座では、ウェブアクセシビリティの必要性について説明しましたね。今回は、ホームページを作成するにあたり、よくある配慮がいたらないポイントについてお伝えします。すべての利用者が等しく情報へアクセスできるよう、配慮の行き届いたホームページを作成しましょう。

2 よくある配慮がいたらないポイント

日時の表記

曜日は、「(○曜日)」のようにし、時間は、ちょうどの場合には、「00分」を書かない。
「(火)」と記載すると、読み上げ機能を使用した場合、「ひ」と読み上げられる場合があります。



1月1日(火)13時00分～15時30分
1/1 13:00～15:00



1月1日(火曜日)13時～15時30分

連絡先の表記

アルファベットのみで省略された記載にしない。
「TEL」とした場合、読み上げ機能を使用すると、「ティーイーエル」と読み上げられます。



TEL, FAX, E-MAIL



電話、ファックス、Eメール

単語の表記

1つの単語内にスペースをいれない。
文書内で体裁を整えるために、文字の間にスペースを入れることもあるのではないのでしょうか。
例えば、「目次」とした場合、読み上げ機能使用時、「め つぎ」と読み上げられます。
また、ひとつの単語として認識されず、検索した際に上位にあがってこない場合があります。



目次



目次

箇条書きの作成方法

箇条書きする場合は、HP作成システム上の機能を使用
ブラウザや検索エンジンなどのプログラムがページ内容を適切に把握し、
利用者にわかりやすく伝えられるようになります。



「・」や「1.」をキーボードで入力、
または「てん」で変換し「・」を選択



システム上の箇条書き機能
(黒丸・白丸・数字など)を使用

1. 2. 3. 1. 2. 3(横並び) A. B. C A. B. C(横並び) a. b. c a. b. c(横並び)
黒丸 黒丸(横並び) 白丸 白丸(横並び) 黒四角 黒四角(横並び)

当局的HP作成
システムでは、
本文ブロック
作成ページに
あります。



前回に続き、今回もウェブアクセシビリティについての関連内容、「よくある配慮がいたらないポイント」についてお伝えしました。
みんなで配慮の行き届いた、「伝わる広報」を目指しましょう！次回もお楽しみに☆

株式会社 銭高組

株式会社銭高組は業祖銭高林右衛門氏が1705年に泉州尾崎村で創業し、1887年に屋号を「銭高組」に改め、今年創業320周年を迎えられました。

「信用第一、堅実経営、積極的精神、和親協同」を社是に掲げ、大阪では、古くは大阪市庁舎や水晶橋、最近では大阪中之島美術館、なにわ筋新線等を手掛けておられます。

海外事業ではベトナムを中心とする東南アジアのほか、ウガンダをはじめとするアフリカにも実績があり、総合建設業として国内外に幅広い実績を持つておられます。

また、東日本大震災直



後の災害復興についても土木・建築両面で積極的に関与し、西自衛消防協議会には昭和35年1月に加入されました。積極的な各種行事の参加に加え、近年も継続して、消火技術の実践性、迅速性を競う、西自衛消防技術練成会にも参加いただいております。

自衛消防隊 紹介

自衛消防隊長 太田 裕士

弊社では定期的に防災訓練等を行い、災害時における従業員各々の役割を確認し、防災意識の向上に努めております。今後も地域の皆様と連携し、自助のみならず共助にも貢献できるよう取り組んでまいります。



女性防火クラブだより

大正区

大正区女性防火クラブは、平成2年11月9日に「シルバードレスシステム」として発足。現在は大正区地域振興会女性部の方々が中心となり、谷田委員長以下985名のクラブ員で組織し活動しています。

昨年度は、9月の高齢者セーフティネット強化月間や12月の歳末警戒期間中に高齢者宅への防火訪問を実施し、火災の危険性や住宅事故防止について啓発することができました。

また2月には日本気象予報士会関西支部から講師を迎え、「気象災害から身を守るには！ 防災気象情報の活用」

と題した研修会を大正消防署で行い、クラブ員の防火・防災に関する知識を更に向上することができました。

今年度も、大正区女性防火クラブ員が一丸となって防火・防災への取り組みを推進することで、地域の安全・安心なまちづくりに貢献していきます。



現場に活かす！救急救命士国家試験問題

救急救命士を目指す者が挑む国家試験。その中でも救急隊員が活動する災害現場で知識として身につけておくべき内容を紹介していきます。今月は分娩に関する問題です。妊婦の観察と処置について理解するとともに、差し迫った状況では車内分娩の可能性も考慮した活動が必要であることを認識しましょう。では、緊急の対応が必要な状況をイメージしつつ、早速解いてみましょう！

第45回（令和4年3月）D問題

34歳の女性。妊娠38週。自宅で陣痛が急に強くなったため本人が救急要請した。

救急隊到着時、女性は居間で仰臥位で寝ており、両大腿の間の床に少量の血液がたまっているのが観察された。両下肢を開いた時の状況を写真に示す。児の顔面を清拭し、ガーゼで鼻腔および口腔内の羊水を可及的に除いた。

次に行うべき対応はどれか。1つ選べ。

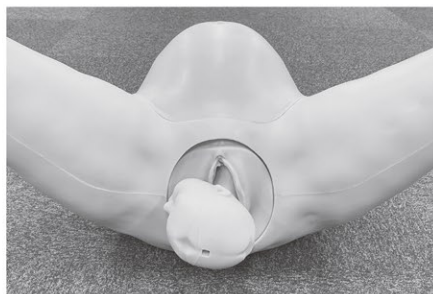
- | | |
|------------------|-------------------|
| 1 この状態のまま救急搬送する。 | 4 児の右肩を母体外に娩出させる。 |
| 2 児頭を母体の腔内に押し戻す。 | 5 児の左肩を母体外に娩出させる。 |
| 3 児頭を回して顔を下に向ける。 | |

ヒントレベル



分娩介助の目的

- 墜落分娩の防止
- 児頭コントロールによる会陰保護
- 分娩後の子宮出血の防止
- 新生児の保温、蘇生



ヒントレベル



正常分娩の3段階

- 分娩第1期 → 陣痛開始から子宮口全開大まで（初産婦：10～12時間・経産婦：4～5時間）
- 分娩第2期 → 子宮用全開大から児娩出まで（初産婦：2～3時間・経産婦：1～1時間半程度）
およそ陣痛開始から初産婦では約半日、経産婦では初産婦の半分の時間で児娩出に至る。
分娩介助と臍帯巻絡による臍帯処置、吸引等を実施する。
- 分娩第3期 → 児娩出から胎盤娩出まで（初産婦：15～30分・経産婦：10～20分）
子宮内反による大量出血をきたし、ショックを起こすことがある。

ヒントレベル



ここもポイント

- 妊娠末期の妊婦を搬送する際は、下大静脈の圧迫による仰臥位低血圧症候群を防止するため、左側臥位、または枕や毛布などを使用して右側を高くするように傾けた体位とする。

解答・解説

解答 4 児の右肩を母体外に娩出させる。

正常分娩では、児頭は下向き（母体の背側側を向いて）で出てくる。次に、顔まで完全に出てくると児頭は右または左向きに回転するので、児頭を下方に誘導すると上側の方が娩出する。【←救急隊員として知っておくべきポイント】

第2期（娩出期）でありすでに児頭が娩出しており、このまま救急搬送するのは困難なため、児娩出に向けて分娩介助を行う。児頭を母体内に押し戻すのも、顔を下に向けるのも不適切である。

（参考・引用 株式会社へるす出版「第45回 救急救命士国家試験問題 解答・解説集」）

消防 漢字 ガール

Fire Fighter Kanji Girl

国立大学文学部卒で大阪市内の某消防署に勤務する、漢字を愛してやまない消防女子「淀橋文子」が防火防災に関する「漢字」の意味や成り立ちを解説する「消防漢字ガール」。さて、今月の漢字は…。

【緊】

意味：かたい。きつくしめる。かたくしめる。ひきしめる。
ちぢむ。さしせまる。きびしい。

今月の漢字は消防の「緊」です。

さて、まずは成り立ちを見てみると、「家来」の意味を持たせた「しっかりと見開いた目」の象形と、「神のしもべとする人の瞳を傷つけて視力を失わせ体が固くなる」という意味（長っ。）を持つ「右手の象形」の「𠂇」に、「より糸」の象形の「糸」を合わせることで「しっかりと締める」という意味を持つ漢字になりました。おなじみの会意兼形声文字ですね。

音読みは「キン」、訓読みは常用漢字表外で「かた（い）」、「きび（しい）」、「し（める）」のほか、「ちぢ（む）」とも読みます。画数は「15画」部首は「糸（いとへん）」です。

※訓読み⇒()の中は「送りがな」



ということで、今月は緊急時にご活用いただけるアプリ「小児救急支援アプリ」をご紹介します。「小児救急支援アプリ」は、15歳未満のお子様を対象にしたスマートフォン専用アプリで、突然の病気やケガの緊急度の判断、病院情報の検索をお手伝いするアプリです。

医療機関を受診される場合は、近くの大阪府内の医療機関が表示され、ワンタッチで電話をかけることができ、地図も表示されます。「救急安心センターおおさか（#7119）」や119番などにもワンタッチで電話をかけることができますよ。是非、使ってみてください。

では、今月はこれでおしまい。じゃあねー。

【今月の警防担当司令の迷言】

「淀橋とか畑中とかの年代はZ世代で言うんやろ？もうすぐ定年のワシとかはS世代くらいにいいのか？」
(司令、そういうことではないんです。)

緊急性の判断から病院情報の案内まで

小児救急支援アプリ



iPhone、iPad (iOS端末)
をご利用の方はこちら



Android端末をご利用の方
はこちら

表彰

救急活動(賞与)

住吉消防署

2部 住吉第1救急隊

消防司令補 増田 龍一
消防士長 宮井 達也
消防士 満倉 康太

傷病者の良好な予後に大きく貢献した功績による。

救急活動(賞与)

住吉消防署

2部 住吉第2救急隊

消防司令補 釜永 将行
消防士長 横田 直記
消防士 辻野 耕一

たところ、搬送中の車内で傷病者に自発呼吸が出現した。その後も引き続き傷病者の容体管理に細心の注意を払いつつ早期搬送に努め、適切に傷病者を医師に引き継いだ。これら一連の活動により、傷病者の良好な予後に大きく貢献した功績による。

救急活動(賞与)

浪速消防署

1部 恵美須小型タンク小隊

消防司令 井上 将行
消防司令補 富永 英一
消防士長 上田 大地
消防士 玉田 実大

傷病者に自己心拍及び自発呼吸が出現した。これら一連の活動により、傷病者の良好な予後に大きく貢献した功績による。

令和7年3月19日、住吉区の福祉施設で発生した救急事案において、現場到着後、傷病者がCPAであること及び喉詰りによるCPAの可能性があることを確認した。直ちに自動体外式除細動器を装着し、CPRを実施するとともに、マギール鉗子及び吸引器を用いて異物除去を実施した。

また、食道閉鎖式エアウェイによる気道確保及び静脈路確保を実施したところ、傷病者に自己心拍が出現した。その後、人工呼吸を継続し、傷病者の容体管理に細心の注意を払いつつ早期搬送に努め、適切に傷病者を医師に引き継いだ。これら一連の活動により、

令和7年4月21日、住之江区の作業場で発生した救急事案において、現場到着後、傷病者がCPAであることを確認したため、直ちにCPRを実施するとともに、半自動除細動器を装着し心電図を解析した。心室細動の波形を確認したため除細動を実施し、ビデオ喉頭鏡を用いた気管挿管による気道確保及び静脈路確保を実施した。その後、薬剤投与及び計3回の除細動を実施し、CPRを継続したところ、傷病者に自己心拍が出現した。また、人工呼吸を継続し

令和7年5月3日、浪速区の遊技場で発生した救急事案において、現場到着時、バイスタンダーが傷病者に対し胸骨圧迫を実施しており、傷病者を観察した結果、傷病者がCPAであることを確認したため、直ちにCPRを開始するとともに、自動体外式除細動器を装着し心電図を解析した。除細動の適応であったため除細動を実施し、CPRを継続した。救急隊到着後も協力してCPRを継続し、計3回の除細動を実施したところ、救急車内において

救急活動(賞与)

淀川消防署

2部 東三国救急隊

消防司令補 坂本 達也
消防士長 小森 淳司
消防士 折田 隼弥

非番日等における救急活動(賞与)

此花消防署

2部 救助担当司令兼警防部
警防課担当係長(特別救助)

消防司令 千田 周一郎

火災防ぎよ活動(賞与)

淀川消防署

2部 淀川小型タンク小隊

消防司令 井村 勇一
消防士長 石黒 雅幾
消防士長 山下 裕司
消防士 村田 竜成

火災防ぎよ活動(賞与)

北消防署

2部 北小型タンク小隊

消防司令 藤本 英司
消防司令補 原田 裕
消防士長 和田 裕陽
消防士 友川 竜聖

令和7年5月28日、淀川区の神社で発生した救急事案において、現場到着時、バイスタンダーが傷病者に対し胸骨圧迫を実施しており、傷病者を観察した結果、傷病者がCPAであることを確認したため、直ちに自動体外式除細動器を装着しCPRを開始した。CPRを実施していたところ、口腔内に異物を確認したため、マガール鉗子及び吸引器を用いて異物を除去した。

また、食道閉鎖式エアウェイによる気道確保及び静脈路確保を実施し、薬剤を投与したところ、傷病者に自己心拍が出現した。その後は、人工呼吸を継続し、傷病者の容体管理に細心の注意を払いつつ早期搬送に努め、適切に傷病者を医師に引き継いだ。これら一連の活動により、傷病者の良好な予後に大きく貢献した功績による。

令和7年6月22日、阪南市において私用車を運転していたところ、原動機付自転車に乗っていた男性が自己転倒するところを目撃したため、直ちに車を安全な場所に停車させ、傷病者の観察を実施した。観察の結果、傷病者がCPAであることを確認したため、付近にいた人々に対し、119番通報、自動体外式除細動器の搬送及び交通整理を依頼して、胸骨圧迫を実施し続けたところ、傷病者は、自己心拍が再開し、意識も回復した。その後、到着した救急隊に状況を正確に伝え、円滑に傷病者を引き継いだ功績による。

令和7年7月6日、淀川区の飲食店で発生した火災現場において、現場到着後、指定方面であった火元建物西側において放水体制を確立し、激しく火炎が噴出する火元建物の2階と火元南側建物の間に延焼阻止の放水を実施した。その後、延焼が始まっていた火元南側建物に屋内進入し、消火活動を実施した。また、火元南側建物に三連はしごが架梯されてからは、梯上放水により火元建物東側への延焼阻止を実施し、最終的には、火元南側建物の2階へ転進し、天井の破壊作業を実施しながら延焼状況の確認を行い、筒先警戒にあたった。これら一連の活動により、被害の拡大を最小限に抑え、市民の負託に応えた功績による。

令和7年7月6日、淀川区の飲食店で発生した火災現場において、現場到着時、火元建物に隣接する火元南側建物が既に爆発音を伴い黒煙を噴出しながら延焼していたため、さらにその東側建物を延焼阻止線とし、当該建物に屋内進入し、濃煙と熱気が充満する2階において天井及び側壁を破壊しながら延焼阻止の放水を実施した。また、その後は、進入した建物の北側に隣接する建物に対し、放水を実施し、延焼を阻止した。これら一連の活動により、被害の拡大を最小限に抑え、市民の負託に応えた功績による。

火災防ぎよ活動(賞与)

北消防署

2部 梅田救助隊

消防司令補	吉野 恭平
消防士長	山本 健
消防士長	古橋 拓馬
消防士	楠田 博哉

火災防ぎよ活動(賞与)

北消防署

2部 本庄小型タンク小隊

消防司令補	源常 涼太
消防司令補	濱野 百年
消防士長	中島 徹
消防士長	延山 大輔

非番日等における火災現場での活動(賞与)

西消防署

2部 出張所担当司令(江戸堀)

消防司令	林 誠久
------	------

非番日等における火災現場での活動(賞与)

東成消防署

1部 警防担当

消防士	吉山 勝登
-----	-------

令和7年7月6日、淀川区の飲食店で発生した火災現場において、現場到着時、火元建物から北側及び南側の建物に延焼中であることを確認した。火元建物の2軒北側の建物の軒下から白煙が噴出して、いる状況であったため、当該建物に屋内進入し、濃煙と熱気が充満する2階において天井及び側壁を破壊しながら延焼阻止の放水を実施した。その後、燃焼状況から1口放水で延焼阻止することは困難と判断し、2口放水に切り替え、延焼阻止を実施した。これら一連の活動により、被害の拡大を最小限に抑え、市民の負託に応えた功績による。

令和7年7月6日、淀川区の飲食店で発生した火災現場において、現場到着時、火勢は最盛期を迎えており、火元建物から東側建物に延焼中であることを確認した。火元建物の2軒東側の建物を延焼阻止線とし、当該建物に屋内進入し、2階において天井及び側壁を破壊しながら延焼阻止の放水を実施した。間もなく室内は濃煙熱気状態となったが、放水を継続して、延焼を阻止した。これら一連の活動により、被害の拡大を最小限に抑え、市民の負託に応えた功績による。

令和7年7月8日、奈良県御所市の飲食店において飲食していたところ、厨房ダクト内を通じて客席に煙が流入してきたことから、火災が発生していると判断した。協力者に消火器の搬送及び119番通報を依頼するとともに、一般客及び従業員を速やかに避難誘導し、パニック状態になる人もいる中、店内にいた全ての人を安全に避難させた。その後、消火器による消火を試みたが、既に店内に煙が充満していたため、消火作業は断念し、到着した消防隊への確に情報提供を行い、円滑に引き継いだ。これら一連の活動により、被害の拡大を最小限に抑えた功績による。

令和7年7月13日、交野市において、飲食店から煙が噴出していることを確認したため駆け付けたところ、外壁に設置されていた室外機が燃焼していたため、従業員から状況を聴取し、通行人に119番通報を依頼するとともに、消火器を用いて室外機の消火作業を実施した。その後、店内に至り、従業員とともに消火器を用いて厨房内の消火作業及びダクト内の消火作業を実施したことに、消防隊到着前に消火に成功した。消防隊到着後は的確に情報提供を行い、円滑に引き継いだ。これら一連の活動により、被害の拡大を最小限に抑えた功績による。

火災現場における救助活動 〔賞与〕

西淀川消防署

1部 西淀川救助隊

消防司令補	神吉 謙也
消防司令補	柏木 翔也
消防士長	坂口 啓太
消防士	河崎敬太郎

火災現場における救助活動 〔賞与〕

西淀川消防署

1部 西淀川小型タンク小隊

消防司令補	山谷 勇樹
消防士長	増田 稜
消防副士長	岩雲 修
消防士	林 竜也

火災防ぎよ活動〔賞与〕

北消防署

1部 梅田救助隊

消防司令補	堀川 誠二
消防士長	鬼塚 琢也
消防士長	吉岡 慎志
消防士	奥 達哉

火災防ぎよ活動〔賞与〕

都島消防署

1部 東野田小型タンク小隊

消防司令補	柳瀬 友彦
消防司令補	植野 靖司
消防士長	多賀井悠介
消防士	西岡 航

令和7年7月14日、淀川区の共同住宅で発生した火災現場において、出場中に、警防本部からの無線情報により、ベランダに要救助者がいることを聴取したため、優先検索箇所をベランダとする救助活動方針を決定した。6階の出火室前に至り、確保ロープを設定し、消火隊の援護注水体制確立後、濃煙熱気の充満する出火室に進入した。熱画像直視装置を活用して、熱気状況を確認しながらベランダに至ると、要救助者を発見したため、レスクマスクを装着し、介添えて要救助者を迅速に屋外へ救出した功績による。

令和7年7月14日、淀川区の共同住宅で発生した火災現場において、出場中に、警防本部からの無線情報により、ベランダに要救助者がいることを聴取するなど、緊迫した状況下において、ホース吊り下げ延長を実施し、6階の出火室前において、迅速に放水体制を確立した。救助隊への援護注水体制を確立後、濃煙熱気の充満する出火室に進入し、急激な燃焼に備えた警戒筒先で救助隊の検索活動に協力したところ、ベランダにおいて、要救助者を発見したため、救助隊と協力して、要救助者を迅速に屋外へ救出した功績による。

令和7年7月14日、都島区の住宅で発生した火災現場において、現場到着後、火元建物から北側への延焼危険が高いと判断し、火元北側建物内部への筒先配備を決定した。濃煙が充満する火元北側建物の2階に至り、天井及び側壁を破壊しながら燃焼状況を確認するとともに、隊員1名が地上から折りたたみはしごを架梯し、緊急時の退路を確保した。その後、天井裏において延焼していた部分に放水を実施した。これら一連の活動により、被害の拡大を最小限に抑え、市民の負託に応えた功績による。

令和7年7月14日、都島区の住宅で発生した火災現場において、現場到着後、火元建物から北側への延焼危険が高いと判断し、火元北側建物内部への筒先配備を決定した。他隊と活動方針の調整を行った後、濃煙が充満する火元北側建物の3階に至り、天井を破壊しながら燃焼状況を確認した。その後、天井裏において延焼していた部分に放水を実施するとともに、3階部分の検索を行った。これら一連の活動により、被害の拡大を最小限に抑え、市民の負託に応えた功績による。

火災防ぎよ活動(賞与)

城東消防署

1部 放出小型タンク小隊

消防司令	阪口 宏樹
消防司令補	古賀 稔明
消防士長	善野 利規
消防士	原 亨成

令和7年7月14日、都島区の住

宅で発生した火災現場において、現場到着後、火元建物から北側への延焼危険が高いと判断し、火元北側建物内部への筒先配備を決定した。濃煙熱気が充満する火元北側建物の2階に至り、東側居室において燃焼していた部分に放水を実施し、制圧した。その後は、天井を破壊しながら燃焼状況を確認し、天井裏において延焼していた部分に放水を実施した。これら一連の活動により、被害の拡大を最小限に抑え、市民の負託に応えた功績による。

火災現場における救助活動(賞与)

城東消防署

1部 城東特別救助隊

消防司令補	前田 勇樹
消防士長	新谷 希哉
消防士長	久原 光竣
消防士	谷浦 雄大

令和7年7月18日、城東区の共

同住宅で発生した火災現場において、白煙が漂う2階の出火室前に至ると、出火室の玄関扉が施錠されていたため、エンジンカッターで扉を切断し開放するとともに確保ロープを設定した。消火隊の援護注水体制確立後、濃煙熱気の充満する出火室に消火隊とともに進入した。消火隊と連携しながら検索を実施したところ、室内において倒れている要救助者を発見したため、レスクマスクを装着し、要救助者を迅速に屋外へ救出した功績による。

火災現場における救助活動(賞与)

城東消防署

1部 放出小型タンク小隊

消防司令補	古賀 稔明
消防士長	善野 利規
消防士長	藤崎 正人
消防士	山口 遼

令和7年7月18日、城東区の共

同住宅で発生した火災現場において、現場到着後、直ちにホース延長を実施し、2階の出火室前で放水体制を確立した。出火室の隣室を通じて、出火室ベランダ側から出火室を確認後、救助隊とともに濃煙熱気の充満する出火室に玄関扉から進入した。救助隊と連携しながら検索を実施したところ、室内において倒れている要救助者を発見したため、救助隊と協力し、要救助者を迅速に屋外へ救出した功績による。

(令和7年9月8日付け)

局是記章 強実章

第53回全国消防救助技術大会

はしご登はん 第1位 陸上の部

西消防署 1部警防担当

消防士長 香川 大也

第53回全国消防救助技術大会

基本泳法 第1位 水上の部

東住吉消防署 2部警防担当

消防士長 高瀬 渉

(令和7年9月17日付け)

※所属・階級は表彰日現在のものです。



救急安心センターおおさか だより

紅葉狩りの後は急な腰痛や転倒にご注意！



11月になり、紅葉を見に山歩きや散策に出かける方も多いのではないのでしょうか。

自然は心を癒してくれますが、普段あまり歩かない方や、長い距離を歩き慣れていない方にとっては負担も多く、思わぬケガや身体のトラブルが起きることがあります。

慣れない山道や少しの段差、長時間の歩行は、腰や膝、足首などに負担がかかります。疲れがたまると、思わぬところでつまずいたり、滑って転倒してしまうことがあります。また「いつの間にか腰が痛い…」や「急に足がつった!」、そんな声も、この時期よく耳にします。



紅葉狩りを安全に楽しむポイント

- ・お出かけ前には、アキレス腱伸ばしや軽いストレッチをして、身体をほぐしておきましょう。
- ・歩きやすい靴、滑りにくい靴を選ぶのも大切です。服装も動きやすさを重視しましょう。
- ・疲れたな、と思ったら無理せず休憩を。水分もしっかり取りましょう。

この秋も、みなさんに安全で楽しい時間が訪れますように。体調に気をつけて、秋の美しい景色を味わいましょう！

大阪府内でのレジャーや山歩きの際に「救急車を呼んだほうがいい?」「今すぐ病院に行ったほうがいい?」「近くの救急病院はどこ?」「応急手当の方法は?」など、突然の病気やケガで悩んだときは、救急安心センターおおさかをご利用ください。また緊急度の判定は、総務省消防庁の全国版救急受診アプリ(Q助)でも判定することができ、近くの病院・診療所をお探しの場合は、厚生労働省の医療情報ネット(ナビイ)でも検索できますので合わせてご利用ください。



全国版救急受診アプリ
総務省消防庁

緊急度判定



医療情報ネット
厚生労働省

病院案内

救急安心センター着信件数(令和7年9月)

令和7年9月の着信件数 (1日あたりの件数)	27,686件 (約923件)
対前年同月比	494件増加



Facebook



X
(旧:Twitter)



Instagram



YouTube



編集後記



表紙のウラ側



令和7年9月26日(金)に、
大阪府立消防学校にて第118回
初任教育の実科査閲と修業式が
行われました！
その様子は来月号で紹介します。

朝、出勤しようとマンションの階段を下りたら、エントランス内が真っ黒になっていたことがありました。なんと、置いてあった共同のごみ箱に放火されていた!と後から聞いて、ビックリするやらゾッとするやら……。階段は一つだけ、土地勘がなければ車でアクセスするのも困難なエリアにあるわが家。しかも、その周辺は、某消防雑誌に取り上げられたこともある住宅密集地。入居を決めた当時は、もしもの時のことを想像してみる発想もなかった私ですが、3階の窓から隣家の屋根に飛び降りる勇気もなく、にわか引越しを考え始めている今日この頃です。(H)

大阪消防

令和7年11月号 第76巻第11号 通巻第908号

発行	大阪消防清風会	編集	大阪市消防局企画部企画課内大阪消防編集部
企画・監修	大阪市消防局		〒550-8566 大阪市西区九条南1-12-54
年間購読料	年間 5,940円 (消費税・送本手数料含む)	TEL	06-4393-6036
		FAX	06-4393-5120
制作・販売	株式会社サイネックス	Eメール	pa0110@city.osaka.lg.jp

※本誌に掲載されている内容の転載、転用を希望される時は、編集部までご連絡ください。



まかせて安心！ 完全サポート

ISO 9001認証取得

本社・大阪支社

総合防災設備

設備
工事

保守
点検

消防
用品

真弓興業株式会社

各種消防資機材

本社 〒590-0975 堺市堺区大浜中町2-1-25

TEL:072(221)8188 FAX:072(223)4475

大阪支社/梅田 TEL:06(6373)9331

関空支社・神戸支社・東京支社・中国支社



<https://mayumi.co.jp>

わたしらで

(令和7年度大阪市防火標語 作者…クラーク 由香子さん)



防火の輪
いでいこうや

デザイン協力
株式会社 創造社デザイン専門学校 Since 1967
グラフィック専攻 下ノ村 和寛さん



大阪市消防局

助かる力、助ける力を学ぼう！
大阪市立阿倍野防災センター
あべのタスカル



一酸化炭素センサで **もっと早く、** 火災を見つける警報器

煙センサに加え、
一酸化炭素センサをプラス。
火災をより早くお知らせし、
逃げ遅れを防ぎます。



PLUSCO
プラスコ

一酸化炭素検知機能付き火災警報器

日本製

検定
合格品

電池寿命
10年



新コスモス電機株式会社

www.new-cosmos.co.jp

詳細は
こちら >>



ご宴会から二次会まで おまかせ下さい!

大阪 **ミナミなら**

都心の
ご宴会処 **鳥よし本店**

電話 (06) 6643-1230

大阪市中央区千日前 2-7-16
千日前交番裏 30m

歓送迎会、同窓会他
各種ご宴会承ります!



大阪 **キタなら**

ご晩酌・
ご宴会処 **鳥よし茶屋**

電話 (06) 6365-0010

大阪市北区曽根崎 2-1-9
梅新お初天神(露天神社)
正門出て左へ30m

**二次会
なら...**

グランドラウンジ
ミス大阪 電話 (06) 6643-1210
ヤングラウンジ
ザ・フレッシュ 電話 (06) 6644-1313

ナイトラウンジ
ミスパール 電話 (06) 6643-1220
ミスパール
昼ラウンジ 電話 (06) 6643-1220



鳥よしグループ 本社

大阪興業株式会社
鳥よし共栄株式会社

〒542-0074 大阪市中央区千日前 2-7-16
電話 (06) 6643-2233・6644-1044